

\*وَأَعْلَمُوا أَنَّمَا غَنِمْتُمْ مِنْ شَيْءٍ فَإِنَّ لِلَّهِ حُمُسَهُ وَلِلرَّسُولِ  
 وَلِذِي الْقُرْبَىٰ وَالْيَتَامَىٰ وَالْمَسْكِينِ وَابْنِ السَّبِيلِ إِن  
 كُنْتُمْ عَامِنْتُمْ بِاللَّهِ وَمَا أُنزِلْنَا عَلَىٰ عَبْدِنَا يَوْمَ الْفُرْقَانِ  
 يَوْمَ التَّفَتَّىٰ الْجَمْعَانِ ۗ وَاللَّهُ عَلَىٰ كُلِّ شَيْءٍ قَدِيرٌ ﴿٤١﴾ إِذْ  
 أَنْتُمْ بِالْعُدْوَةِ الدَّنْيَا وَهُمْ بِالْعُدْوَةِ الْقُصْوَىٰ وَالرَّكْبُ  
 أَسْفَلَ مِنْكُمْ وَلَوْ تَوَاعَدْتُمْ لِأَخْتَلَفْتُمْ فِي الْمِيعَادِ  
 وَلَكِن لِّيَقْضِيَ اللَّهُ أَمْرًا كَانَ مَفْعُولًا لِيَهْلِكَ مَنْ  
 هَلَكَ عَن بَيْنَتِهِ وَيُحْيِيَ مَنْ حَيَّ عَن بَيْنَتِهِ وَإِنَ اللَّهُ  
 لَسَمِيعٌ عَلِيمٌ ﴿٤٢﴾ إِذْ يَرِيكَ هُمُ اللَّهُ فِي مَنَامِكَ قَلِيلًا  
 وَلَوْ أَرَاكَ هُمْ كَثِيرًا لَفَشِلْتُمْ وَتَلْتَزَعْتُمْ فِي الْأَمْرِ  
 وَلَكِنَّ اللَّهَ سَلَّمَ إِنَّهُ وَعَلِيمٌ بِذَاتِ الصُّدُورِ ۗ وَإِذْ  
 يُرِيكُمُوهُمْ إِذِ التَّمْتَرْتُمْ فِي أَعْيُنِكُمْ قَلِيلًا وَيُقَلِّلْكُمْ  
 فِي أَعْيُنِهِمْ لِيَقْضِيَ اللَّهُ أَمْرًا كَانَ مَفْعُولًا وَإِلَى اللَّهِ  
 تُرْجَعُ الْأُمُورُ ﴿٤٣﴾ يَا أَيُّهَا الَّذِينَ آمَنُوا إِذَا لَقِيتُمْ فِئَةً  
 فَاثْبُتُوا وَاذْكُرُوا اللَّهَ كَثِيرًا لَّعَلَّكُمْ تُفْلِحُونَ ﴿٤٤﴾

41 信者たちよ、あなた方が戦いで得たどんな戦利品も5分割される。5分の4は、アッラーの道のために戦った人たちに分けられる。残りの5分の1は、次のようにさらに5分割される。ムスリム一般のために支出されるための、アッラーとその使徒のための取り分。次いででは預言者(アッラーの祝福と平安あれ)の近親でハシム家でありアルムッタリブの子孫たち、そして孤児たち、貧者や困窮者たち、困っている旅人たちの取り分である。もしあなた方がアッラーと、またバドルの戦いであなた方に敵に対して勝利を与えた正邪識別の日に、僕ムハンマド(アッラーの祝福と平安あれ)に啓示したものを信じるならば、この命令に従いなさい。あなた方に勝利を与えたアッラーは、何事も可能なお方である。

42 信者たちよ、あなた方がマディーナの方の谷に近い側において、多神教徒たちはマッカの方向の遠方において、隊商があなた方よりも低い紅海側にいたときのこと。たとえあなた方が多神教徒たちと互いに決戦の約束をしていたとしても、それは果たせなかっただろう。しかしアッラーはそのような約束なしでバドルにあなた方を集め、定めた命令を成し遂げられた。つまり、信者の勝利と不信仰者の敗戦である。それはかれの教えの勝利であり、多神教の恥辱であった。こうして滅びる人は、少数であり準備不足であったにもかかわらず勝利した信者たちによって、明らかな証拠を示された上で滅び、一方で生きる人はアッラーが提示した明らかな証拠に従って生きるのである。こうして、アッラーに対抗する論拠はない格好となる。誠にアッラーは、誰の言うことも聞き、誰のすることもご存知であり、何も隠すことができない方で、行いに報われる方なのである。

43 使徒よ、アッラーはあなたと信者への恩寵として、夢の中で敵側を少数に見せたとき、それを皆に知らせて、それを吉兆と見なした。そして決戦の決心がついたのであった。しかしかれらを多数に見せていたならば、信者たちの決意は揺るぎ、かれらは戦意を失っただろう。でもアッラーはあなたを救い、信者の勇気を失わないようにされて、敵を少数に見せられた。本当にかれは、心の中にあるものを知り、魂が隠しているものをご存知である。

44 信者たちよ、あなた方が、かれらと出会ったとき、かれはあなた方の目にかれらを少数に見せ、そしてあなた方を戦闘へと駆らせた。かれらの目にあなた方を少数に見せて、進軍させて戻るとは考えさせなかったのだ。こうしてアッラーは、不信仰者は報復として殺されたり捕虜になったりし、あなた方信者は勝利と敵の敗戦で報われて、定めた命令が必ず成し遂げられるようにされるのである。アッラーにこそ、すべてのことは帰着するのであり、善行者であれ悪行者であれ、それに応報されるのだ。

45 アッラーを信じ、その使徒に従う信者たちよ、敵軍と出会ったときは、堅固にして、臆病になるな。ひたすらアッラーを多く唱念せよ。そうすればあなた方は援助されて、敵に勝利するだろう。望みの物を得られるように、そして恐れるものから守られるように、かれに祈るのだ。

#### 本諸節の功德:

- 戦利品はアッラーのものだが、お好みのように配分される。それに口出しできるものはいない。
- 忍耐、堅固さ、多くアッラーを唱念すること、これらは主な勝因となる。
- アッラーの定めは実施され、その英知は計り知れない。それは、アッラーの僕と人々に全員にとって、最善なのである。

وَأَطِيعُوا اللَّهَ وَرَسُولَهُ وَلَا تَتَزَعَّوْا فَتَفْشَلُوا وَتَذْهَبَ  
 رِيحُكُمْ وَأَصِيرُوا إِنَّ اللَّهَ مَعَ الصَّادِقِينَ ﴿٤٦﴾ وَلَا تَكُونُوا  
 كَالَّذِينَ خَرَجُوا مِنْ دِيَارِهِمْ بَطْرًا وَرِئَاءَ النَّاسِ وَيَصُدُّونَ  
 عَنْ سَبِيلِ اللَّهِ وَاللَّهُ يَمَّا يَحْمِلُونَ مُجِيطٌ ﴿٤٧﴾ وَإِذْ زَيْنَ  
 لَهُمُ الشَّيْطَانُ أَعْمَلَهُمْ وَقَالَ لِأَعْلَابٍ لَكُمْ الْيَوْمَ مِنَ  
 النَّاسِ وَإِنِّي جَارٌ لَكُمْ فَلَمَّا تَرَآءَ الْفِتْنَانَ نَكَصَ  
 عَلَى عَقْبَيْهِ وَقَالَ إِنِّي بَرِيءٌ مِّنْكُمْ إِنِّي أَرَى مَا لَا  
 تَرَوْنَ إِنِّي أَخَافُ اللَّهَ وَاللَّهُ شَدِيدُ الْعِقَابِ ﴿٤٨﴾ إِذْ يَقُولُ  
 الْمُنَافِقُونَ وَالَّذِينَ فِي قُلُوبِهِمْ مَّرَضٌ غَرَّ هَوَاهُ دِيَارَهُمْ  
 وَمَنْ يَتَوَكَّلْ عَلَى اللَّهِ فَإِنَّ اللَّهَ عَزِيزٌ حَكِيمٌ ﴿٤٩﴾ وَتَوَلَّى  
 إِذْ يَتَوَفَّى الَّذِينَ كَفَرُوا الْمَلَائِكَةُ يَضْرِبُونَ  
 وُجُوهَهُمْ وَأَدْبُرَهُمْ وَذُوقُوا عَذَابَ الْحَرِيقِ ﴿٥٠﴾ ذَلِكَ  
 بِمَا قَدَّمْتُمْ أَيْدِيَكُمْ وَأَنْتَ اللَّهُ لَيْسَ بِظَلَمٍ لِلْعَبِيدِ ﴿٥١﴾  
 كَذَابٌ آلِ فِرْعَوْنَ وَالَّذِينَ مِنْ قَبْلِهِمْ كَفَرُوا بِآيَاتِ اللَّهِ  
 فَأَخَذَهُمُ اللَّهُ بِذُنُوبِهِمْ إِنَّ اللَّهَ قَوِيٌّ شَدِيدُ الْعِقَابِ ﴿٥٢﴾

④⑥ アッラーとその使徒に、言葉、行い、その他の事柄について従え。そして互いに言い争ってはいけない。さもないとあなた方は弱くなり、臆病となり、脆弱化する。だから耐よ。アッラーは耐える人たちを援助され、支援される。そしてアッラーが共にある者は勝利するのだ。

④⑦ 高慢になって、人々への見栄のためにマッカを出て、アッラーの教えを人々から阻む多神教徒のようであってはいけない。アッラーはかれらの行なうこと、すべてを把握している。何も隠すことはできないし、**かれ**は行いに報われるのだ。

④⑧ 信者よ、アッラーの恩寵を想起しなさい。悪魔が、かれら(多神教徒)にその行ないをうわべは立派であると思わせて、ムスリムとの戦いに向かわせたとき、悪魔は言った。今日は誰もあなた方(多神教徒)に打ち勝つことはできない、本当にわたしはあなた方の味方なのだ。しかし天使が助勢する信者と、裏切ろうとする悪魔と一緒の多神教徒たちが互いに会ったとき、悪魔は踵を返して言った。実のところわたしはあなた方と無関係だ。わたしはあなた方を支援する天使たちを見て、アッラーがわたしたちを滅ぼすことを恐れる。アッラーは懲罰に厳しく、だれもそれに耐えられないのだ。

④⑨ 偽信者と信仰脆弱な人たちが言った。少数で装備も乏しいムスリムたちが、多数で強力な敵に勝利するとかれらの宗教は断言したが、それは虚偽だったと。しかし偽信者たちは、アッラーのみに依拠し、約束通り勝利すると信頼する人にとっては、どんなに弱くてもアッラーは援助され、決して見捨てられないことが分からないのだ。アッラーは偉力大で、**かれ**を負かすものはいない。**かれ**は命令とその法規において英明である。

④⑩ 使徒よ、あなたは天使たちが不信仰者たちの魂を抜き取るとき、かれらが向かってくるならその顔を打ち、逃げるならその背中を打つて言うのを見るだろう。不信仰者よ、地獄の火の苦痛を味わえ、と。それはすさまじい光景だ。

④⑩ 魂が抜き取られるときのこの懲罰と、墓の中と来世での燃える懲罰は、あなた方のこの世での行いが原因だ。確かにアッラーは、人々に不正を働きはしない。かれは公正な裁き手であられる。

④⑫ 不信仰者に対する処罰は、いつでも同じであった。フィルアウンの一族や、かれら以前の人々も同じように、至高なるアッラーの言葉を信じなかった。その罪に対して、アッラーは力と権勢で罰せられた。本当にアッラーは、強力であり、非力で敗北することはないのだ。また反対する者には、懲罰に厳しい。

#### 本諸節の功德:

- 高慢さは人の人間性を破壊する病気である。またそれは急速にその成り立ちも危うくする。
- 困難に忍耐は有効である。またアッラーは、命令に従順な人には援助をされる。このようなことは、多くの方面で観察されることである。
- 仲違いと紛争は、社会の不和につながり、敗北、撤退、そして力、支援、権勢の損失を招くこととなる。
- 信仰は強力な軍勢も立ち向かえないような偉大な物事にも、立ち向かわせてくれる。

ذَلِكَ يَأْنِ اللَّهُ لَمْ يَكُ مُغَيِّرًا نِعْمَةً أَنْعَمَهَا عَلَى قَوْمٍ حَتَّى  
 يُغَيِّرُوا مَا بِأَنْفُسِهِمْ وَأَنَّ اللَّهَ سَمِيعٌ عَلِيمٌ ﴿٥٦﴾ كَذَّبَ آلُ  
 فِرْعَوْنَ وَالَّذِينَ مِنْ قَبْلِهِمْ كَذَّبُوا بِآيَاتِ رَبِّهِمْ فَأَهْلَكْنَاهُمْ  
 بِذُنُوبِهِمْ وَأَعْرَفْنَا آلَ فِرْعَوْنَ وَكُلَّ كَاذِبٍ لَمِيمٍ ﴿٥٧﴾  
 إِنَّ شَرَّ الدَّوَابِّ عِنْدَ اللَّهِ الَّذِينَ كَفَرُوا فَهُمْ لَا يُؤْمِنُونَ  
 ﴿٥٨﴾ الَّذِينَ عَاهَدْتُمْ مِنْهُمْ ثُمَّ يَنْقُضُونَ عَهْدَهُمْ فِي كُلِّ  
 مَرَّةٍ وَهُمْ لَا يَتَّقُونَ ﴿٥٩﴾ فَمَا تَتَّقَنَّهُمْ فِي الْحَرْبِ فَشَرِّدْ بِهِمْ  
 مَنْ خَلَفَهُمْ لَعَلَّهُمْ يَذَّكَّرُونَ ﴿٦٠﴾ وَإِنَّمَا تَخَافَتَ مِنْ قَوْمٍ  
 خِيَانَةً قَابِلًا يَذَّابِلُهُمْ عَلَى سِوَاءِ إِنْ اللَّهُ لَا يُحِبُّ الْخَائِنِينَ  
 ﴿٦١﴾ وَلَا يُحْسِبَنَّ الَّذِينَ كَفَرُوا سَبَقُوا إِنْهُمْ لَا يَعْرِضُونَ  
 ﴿٦٢﴾ وَأَعِدُّوا لَهُمْ مَا اسْتَطَعْتُمْ مِنْ قُوَّةٍ وَمِنْ رِبَاطِ الْخَيْلِ  
 تُرْهَبُونَ بِهِ عَدُوَّ اللَّهِ وَعَدُوَّكُمْ وَءَاخِرِينَ مِنْ دُونِهِمْ  
 لَا تَعْلَمُونَهُمُ اللَّهُ يَعْلَمُهُمْ وَمَا تُنْفِقُوا مِنْ شَيْءٍ فِي سَبِيلِ  
 اللَّهِ يُوَفَّ إِلَيْكُمْ وَأَنْتُمْ لَا تُظْلَمُونَ ﴿٦٣﴾ وَإِنْ جَنَحُوا لِلسَّلَامِ  
 فَاجْعَلْ لَهَا وَتَوَكَّلْ عَلَى اللَّهِ إِنَّهُ هُوَ السَّمِيعُ الْعَلِيمُ ﴿٦٤﴾

53 厳しい懲罰が課せられる原因は、アッラーが人々に与えた恩寵について、かれら自身で信仰、正道、感謝という良い状態を、アッラーに不信を抱き、背反し、恵みに感謝しないという悪い状態に変えない限り、奪ってしまうということはないからである。誠にアッラーは、僕の言葉を全て聞かれ、その行いのすべてを知っておられる。何も隠せるものはないのだ。

54 かれら不信仰者は、フィルアウンの一族やそれ以前のアッラーを拒否した人々と同類である。かれらはアッラーの印を嘘呼ばわりしたので、アッラーはその罪のためにかれらを滅ぼし、フィルアウンの一族を溺れさせた。かれらはひとり残らず不服従で、アッラーを信仰せずに、それに同列に並ぶものを崇拜していた。かれらには懲罰が必然となったので、アッラーは罰を下したのであった。

55 本当に地上で歩く者で最悪なのは、アッラーとその使徒に不信仰であり、あらゆる印を拒否する者である。不信仰を貫き、導きの方途である、理性、聴覚、視覚などは、何の役にも立たない。

56 クライザ族のように、一度協定を結んでもその度に破る人たちは、アッラーを恐れず、約束を守らず、締結された約束などは反故にしてしまうのだ。

57 使徒よ、あなたが戦場で約束破りの不信仰者に遭遇するときは、かれらを厳しい事例となるようにしろ。かれら以外の人をもそれを聞いて、それを教訓にして、あなたとの戦闘に恐怖心を抱くだろう。あるいはあなた方の敵を支援することを恐れるようになるだろう。

58 使徒よ、またあなたが協定の相手の様子から欺瞞と裏切りを懸念するならば、かれらに、協定の放棄を通告せよ。通告前の奇襲は裏切りだから、そのようなことはしてならない。アッラーは、裏切り者を愛されない。本当にそれを嫌われるので、裏切りには注意するように。

59 不信仰者たちに、かれらが懲罰を逃れ、それを失敗させることができたと思わせてはならない。かれらは懲罰から逃げ切り、それを失敗させることはできない。

60 信者たちよ、アッラーの敵であり、あなた方の敵である者たちに恐怖心を与えるため、あなた方にできる限りの兵員、弓矢などの装備と訓練された軍馬などをアッラーの道のために備えよ。そしてあなた方は周辺で身を潜め、あなた方はその敵意を知らないが、アッラーはご存知であるかれら側にいるその他の人にも恐怖心を与えよ。アッラーのみがご存知で、かれらが隠すことも承知されている。あなた方がアッラーの道のために施す大小の資財は、何らかの形であなた方に現世で補填され、来世では何の減額もせずに完全に報われる。だからその道のために、急いで施すように。

61 使徒よ、もしかれらが和平に傾いたならば、戦うのは止めてあなたもそれに傾き、休戦して、アッラーを信頼せよ。かれは絶対にあなたを見捨てられない。誠にアッラーは、あなたの言葉をよく聞かれ、あなたの意図と行為を熟知されている。

**本諸節の功徳:**

- 法的な罰則の意義の一つは、同様の罪が他の人によって行われないように抑止するということである。また同罪を繰り返すことも抑止するであろう。
- 信者の特性の一つは、約束を実行するということ。ただし裏切りが実証されれば別である。
- ムスリムは、武器、計画、政策などで、敵を恐れさせて、それに備える義務がある。
- ムスリムの最良の利益となるならば、敵と講和するのは許される。

وَأَنْ يُرِيدُوا أَنْ يَخْدَعُوكَ فَإِنَّ حَسْبَكَ اللَّهُ هُوَ الَّذِي آتَاكَ  
بِنَصْرِهِ وَبِالْمُؤْمِنِينَ ﴿٦٦﴾ وَاللَّفَّ بَيْنَ قُلُوبِهِمْ لَوْ أَنْفَقْتَ  
مِائَةَ الْأَرْضِ جَمِيعًا مَا أَلْفَتَ بَيْنَ قُلُوبِهِمْ وَلَكِنَّ اللَّهَ  
أَلْفَ بَيْنَهُمْ إِنَّهُ وَعَزِيزٌ حَكِيمٌ ﴿٦٧﴾ يَا أَيُّهَا النَّبِيُّ حَسْبُكَ  
اللَّهُ وَمَنْ آتَبَعَكَ مِنَ الْمُؤْمِنِينَ ﴿٦٨﴾ يَا أَيُّهَا النَّبِيُّ حَرِّضَ  
الْمُؤْمِنِينَ عَلَى الْقِتَالِ إِنْ يَكُنْ مِنْكُمْ عَشْرُونَ صَابِرُونَ  
يَغْلِبُوا مِائَتَيْنِ وَإِنْ يَكُنْ مِنْكُمْ مِائَةٌ يَغْلِبُوا أَلْفًا مِنَ  
الَّذِينَ كَفَرُوا بِأَنَّهُمْ قَوْمٌ لَا يَفْقَهُونَ ﴿٦٩﴾ أَلَنْ خَفَفَ  
اللَّهُ عَنْكُمْ وَعَلَّمَ أَنَّ فِيكُمْ ضَعْفًا فَإِنْ يَكُنْ مِنْكُمْ مِائَةٌ  
صَابِرَةٌ يَغْلِبُوا مِائَتَيْنِ وَإِنْ يَكُنْ مِنْكُمْ أَلْفٌ يَغْلِبُوا  
أَلْفَيْنِ بِإِذْنِ اللَّهِ وَاللَّهُ مَعَ الصَّابِرِينَ ﴿٧٠﴾ مَا كَانَ لِنَبِيِّ  
أَنْ يَكُونَ لَهُ وَاسْرِي حَتَّى يُشْخِنَ فِي الْأَرْضِ تُرِيدُونَ عَرَصَ  
الدُّنْيَا وَاللَّهُ يُرِيدُ الْآخِرَةَ وَاللَّهُ عَزِيزٌ حَكِيمٌ ﴿٧١﴾ لَوْلَا كَتَبُ  
مِنَ اللَّهِ سَبَقَ لَمَسَّكُمْ فِيمَا أَخَذْتُمْ عَذَابٌ عَظِيمٌ ﴿٧٢﴾ فَكُلُوا  
مِمَّا عَنِمَتْ حَلَالَ طَبِئًا وَاتَّقُوا اللَّهَ إِنَّ اللَّهَ عَفُورٌ رَحِيمٌ ﴿٧٣﴾

⑥2たとえかれらがあなたを講和でもって欺いて戦おうとしても、あなたにはアッラーがいれば、かれらの企みやだましに対して十分である。かれこそは、その援助とマッカからの移住者やマディーナの支持者という信者たちによって、あなたを手助けするのである。

⑥3またかれは、あなたを支援した信者の心がバラバラであったのを結び付けた。たとえあなたが、地上のすべてのものを施しても、かれらの心をつなげることはできなかった。しかしアッラーが、かれらの心をつなげたのだ。真にアッラーは、その王国で偉力大で、誰も勝ることはできない。またその命じるところ、事態の処理や法規において、英明な方だ。

⑥4預言者(ムハンマド)よ、あなたと信者たちには、アッラーがいれば十分なのだ。だから、アッラーを信頼し、かれに依拠するように。

⑥5預言者よ、戦闘において信者たちを鼓舞して、戦闘を継続し、かれらの決意を強化し士気を高めよ。信者よ、あなたの方中、20人の忍耐強い人がいれば、200人を打ち負かさすだろう。あなたの方中、もし100人の忍耐強い人がいるならば、1000人の不信仰者を打ち負かさすだろう。なぜならかれら不信仰者は、アッラーがいつもその友を助け、敵を打ち負かさすということを理解しないからだ。かれらは戦いの目的を理解しないので、ただ戦いはこの世で優越するためということになるのだ。

⑥6今アッラーがあなたの方の負担を軽減したのは、あなたの方に、弱さのあることをご存知だから。それはかれの恵みからだ。あなたの方には10人に対してではなく、1人につき2人に忍耐強くあらねばならない。だからもし100人の忍耐強い人がいれば、200人を打ち負かさすだろう。そしてもし1000人ならば、アッラーの許しの下に、2000人を打ち負かさすだろう。アッラーは、支持と援助によって、忍耐強い人たちと共におられるのである。

⑥7多数を殺害するまでは、捕虜を捕えることは、使徒にとってふさわしくない。それは、敵で怖がる者が多数出てきて、戦闘をもうしなくなるようにするためである。信者たちよ、あなた方はバドルの戦いで勝利して身代金を望むが、アッラーはあなたの方に、宗教を強く勝利させて誉れ高くすることで到達する来世を望まれる。アッラーは、その本質、属性、そしてその支配において、偉力大である。また処理と法規において英明な方である。

⑥8もし前もってアッラーが許されるという定めを書かれていなかったならば、あなた方はその受け取った戦利品や捕虜の身代金のために、重大な苦痛に見舞われたことだろう。というのは、それが許されるという啓示が下る以前にあなた方はそれらを獲得したからだ。

⑥9だからあなた方が戦利品として得た合法的なものを享受しなさい。そして、アッラーを畏れ、その命令に従い禁止を守りなさい。本当にアッラーは、信者の僕には、よく赦される方であり、慈悲深い方である。

#### 本諸節の功德:

- アッラーの約束として、信者にとってはかれで十分であり、かれらを敵に援助して下さることが、その啓示の言葉の中にある。
- 敵に向かってムスリムは堅忍でなければならず、もし正当な理由があればその例外となる。
- アッラーはその僕に高貴なことを好まれて、些末なことを嫌われる。だから、来世の永遠の報奨を得るように勤められるのだ。
- 捕虜の身代金やその釈放は、不信仰者に対する完全な支配と権威確立の後で、またイスラーム国家の優越性が確認された後でなければならない。

يَأْتِيهَا النَّبِيُّ قُلْ لِمَنْ فِي أَيْدِيكُمْ مِنَ الْأَسْرَىٰ إِنْ يَعْلَمِ اللَّهُ فِي قُلُوبِكُمْ خَيْرًا يُؤْتِكُمْ خَيْرًا مِّمَّا أُخِذَ مِنْكُمْ وَيَعْفُوكُمْ ۗ وَاللَّهُ غَفُورٌ رَحِيمٌ ﴿٧٥﴾ وَإِنْ يُرِيدُوا خِيَانَتَكَ فَقَدْ خَانُوا اللَّهَ مِنْ قَبْلُ فَأَمْكَنَ مِنْهُمْ ۗ وَاللَّهُ عَلَيْهِمْ حَكِيمٌ ﴿٧٦﴾ إِنَّ الَّذِينَ ءَامَنُوا وَهَاجَرُوا وَجْهَهُدِئًا بِأَمْوَالِهِمْ وَأَنْفُسِهِمْ فِي سَبِيلِ اللَّهِ وَالَّذِينَ ءَاوَأُوا وَنَصَرُوا أُولَٰئِكَ بَعْضُهُمْ أَوْلِيَاءُ بَعْضٍ وَالَّذِينَ ءَامَنُوا وَلَمْ يُهَاجِرُوا مَا لَكُم مِّن لَّدِينِهِم مِّن شَيْءٍ حَتَّىٰ يُهَاجِرُوا ۗ وَإِنِ اسْتَنْصَرُوكُمْ فِي الدِّينِ فَعَلَيْكُمْ النَّصْرُ ۖ إِلَّا عَلَىٰ قَوْمٍ بَيْنَكُمْ وَبَيْنَهُم مِّيثَاقٌ ۗ وَاللَّهُ بِمَا تَعْمَلُونَ بَصِيرٌ ﴿٧٦﴾ وَالَّذِينَ كَفَرُوا بَعْضُهُمْ أَوْلِيَاءُ بَعْضٍ ۗ إِلَّا تَتَّقَوْهُ تَكُنْ فِتْنَةً فِي الْأَرْضِ وَفَسَادٌ كَبِيرٌ ﴿٧٧﴾ وَالَّذِينَ ءَامَنُوا وَهَاجَرُوا وَجْهَهُدِئًا فِي سَبِيلِ اللَّهِ وَالَّذِينَ ءَاوَأُوا وَنَصَرُوا أُولَٰئِكَ هُمُ الْمُؤْمِنُونَ حَقًّا لَهُمْ مَّغْفِرَةٌ وَرِزْقٌ كَرِيمٌ ﴿٧٨﴾ وَالَّذِينَ ءَامَنُوا مِن بَعْدِ وَهَاجَرُوا وَجْهَهُدِئًا مَعَكُمْ فَأُولَٰئِكَ مِنكُمْ وَأُولُو الْأَرْحَامِ بَعْضُهُمْ أَوْلَىٰ بِبَعْضٍ فِي كِتَابِ اللَّهِ ۗ إِنَّ اللَّهَ بِكُلِّ شَيْءٍ عَلِيمٌ ﴿٧٩﴾

70 預言者よ、バドルの戦闘の後、あなた方の手中にある捕虜たちに言いなさい。もしアッラーが、あなた方不信心の捕虜の心の中に善いものを認めるならば、あなた方の身代金よりも善いものを与えられるので、悲しむことはない。アッラーは、あなたの罪を赦される。かれは、改心する人たちをよく赦される方であり、慈悲深い方である。この約束は、預言者(アッラーの祝福と平安を)の叔父であるアッパースらのことで、捕虜になった後でイスラームに入信した人々に対して果たされた。

71 かれらはあなたを言葉で裏切ろうとしてきたが、実は以前からアッラーを裏切ってきた。たとえあなたを裏切ろうとしても、かれはあなたに、かれらが殺され、また捕虜にされることで、勝利を与えられた。もしかれらが以前通り悪行に走るのであれば、同じような事態になるのを、かれらは待つこととなる。アッラーは、創造について知り尽くし、かれらに何が最善かを知り尽くされる。そして物事の処理において英明である。

72 アッラーを信じ、使徒を受け入れ、法規を守り、非イスラーム地域からイスラームの地域へ移住し、あるいは安全に礼拝できるところへ移り住み、アッラーの道のために財産と生命を捧げてアッラーの教えを高めようと奮闘努力した人たち、それからかれらに避難所を提供し援助した人たち、これらの移住者やイスラームの家にいる支持者たちは、互いに助け合う友人であり擁護者である。一方、信仰しても、移住しなかった人々については、かれらが移住するまであなた方信者には、かれらを保護する義務はない。でもかれらが宗教の迫害に関してあなた方に援助を求めるならば、敵に対してかれらを助けなさい。ただしあなた方と盟約のある間の人々に逆らってはならない。アッラーはあなた方の行なうことを、すべてお見通しであり、それについて報われるのである。

73 不信心な人たちも、互いに不信仰について友人となり団結する。信者はかれらと友人になるはならない。だからあなた方信者も互いに擁護して、不信仰者に反対しないならば、信仰者は支援がなく脆弱となり、従ってアッラーの道は妨げられるので、地上には大変な退廃が起こるだろう。

74 信仰して移住し、アッラーの道のために財産と生命を捧げて奮闘努力した人たちと、かれらに避難所と支援を提供した人たち、これらの人たちは真の信者である。かれらにはその罪に対してはアッラーからの赦しと、最善の糧が授かることとなる。つまりそれは、楽園である。

75 信者たちよ、先に移住し支持した人々より遅れて信仰に入り、移住してあなた方と共に奮闘努力し、非イスラーム地域からイスラームの地域に移り、アッラーの言葉が最高で、不信仰者の言葉が最低となるように努める者たちは、あなた方の仲間である。かれらにもあなた方と同様の権利があるし、義務も同様である。アッラーの最終的な相続法によれば、以前のように信条や移住による相続よりも、血縁関係にある者どうしの相続こそが優先される。アッラーは、すべてのことをご存知で、何も隠せない。僕の利益は何かを知り、その福利のために法規を定められる。

#### 本諸節の功徳:

- 捕虜には、イスラームの信仰を勧めるようにしなければならない。
- これらの諸節には、信者は、物的精神的な要因を満たす限り、多神教徒たちに対する勝利が保証されているという良い知らせが含まれている。
- ムスリムは互いに手を携えていない限り、不信仰者に対して、脆弱となり、相当な頹廃が生じることとなる。
- イスラーム法では契約や合意を順守することには、大きな功徳が認められる。たとえそれが一部のムスリムの利益に反しても、そうなのである。

بَرَاءَةٌ مِنْ اللَّهِ وَرَسُولِهِ إِلَى الَّذِينَ عَاهَدْتُمْ مِنَ الْمُشْرِكِينَ ﴿١﴾  
 فَيَسْجُودُ فِي الْأَرْضِ أَرْبَعَةَ أَشْهُرٍ وَعَلِمُوا أَنَّكُمْ غَيْرُ مُعْجِزِي  
 اللَّهِ وَأَنَّ اللَّهَ مُخْزِي الْكَافِرِينَ ﴿٢﴾ وَأَذَانٌ مِنَ اللَّهِ وَرَسُولِهِ  
 إِلَى النَّاسِ يَوْمَ الْحَجِّ الْأَكْبَرِ أَنَّ اللَّهَ بَرِيءٌ مِنَ الْمُشْرِكِينَ  
 وَرَسُولُهُ إِنَّا بُنِيتُمْ فَهَوَّخْتُمْ لَكُمْ وَإِن تَوَلَّيْتُمْ فَأَعْلَمُوا  
 أَنَّكُمْ غَيْرُ مُعْجِزِي اللَّهِ وَبَشِّرِ الَّذِينَ كَفَرُوا بِعَذَابٍ أَلِيمٍ  
 ﴿٣﴾ إِلَّا الَّذِينَ عَاهَدْتُمْ مِنَ الْمُشْرِكِينَ ثُمَّ لَمْ يَنْقُصُوا شَيْئًا  
 وَلَمْ يُظَاهِرُوا عَلَيْكُمْ أَحَدًا فَأَتَمُّوا إِلَيْهِمْ عَهْدَهُمْ إِلَىٰ مَدَّتِهِمْ  
 إِنَّ اللَّهَ يُحِبُّ الْمُتَّقِينَ ﴿٤﴾ فَإِذَا أُنْسِلَخَ الْأَشْهُرُ الْحُرُمُ  
 فَاقْتُلُوا الْمُشْرِكِينَ حَيْثُ وَجَدْتُمُوهُمْ وَخُذُواهُمْ وَأَحْصِرُواهُمْ  
 وَأَقْعُدُوا لَهُمْ كُلَّ مَرْصَدٍ فَإِن تَابُوا وَأَقَامُوا الصَّلَاةَ وَآتَوْا  
 الزَّكَاةَ فَخَلُّوا سَبِيلَهُمْ إِنَّ اللَّهَ غَفُورٌ رَّحِيمٌ ﴿٥﴾ وَإِن أَحَدٌ  
 مِنَ الْمُشْرِكِينَ اسْتَجَارَكَ فَأَجِرْهُ حَتَّىٰ يَسْمَعَ كَلِمَةَ  
 اللَّهِ ثُمَّ أَبْلِغْهُ مَأْمَنَهُ وَذَلِكَ بِأَنَّهُمْ قَوْمٌ لَا يَعْلَمُونَ ﴿٦﴾

る人たちを愛する。

⑤ 聖月(ズー・アルカアダ、ズー・アルヒτζヤ、ムハツラム、ラヅャブ)の間はあなた方は敵にも安全保障をしていたが、それらが過ぎたならば、あなた方はどこであれ多神教徒を見つけ次第殺し、捕虜とし、またかれらを皆に包囲し、かれらの道のりで待ち伏せしろ。でもかれらが多神信仰を改心し、礼拝の務めを守り、自分の富から定めぬ施しをするならば、かれらはあなたのイスラームの同胞であり、最早かれらと戦うことは許されない。誠にアッラーは、改心する僕に対しては、よく赦される方であり、慈悲深い方である。

⑥ もし生命や財産の保証がない多神教徒たちであなたに保護を求める人があれば、預言者よ、かれがクルアーンを聞くことができるよう保護し、さらにかれを安全な所へ護送しなさい。なぜならかれらは、この宗教の実態を知らない人々だからだ。クルアーンを聞いてそのあり方を知ったならば、かれらも正しい道に来るかもしれないのだ。

#### 本諸節の功德:

- イスラームは平和、安全、相互理解に基づいた敵との対外関係を構築することを求めていることが、クルアーンより判明する。
- イスラームは盟約を評価し、その遵守を求める。それは、信仰の結果とし、またアッラーを畏れることに随伴する要因であるとする。
- 礼拝をして施しをするのは、ムスリムである証左である。それは命と財の庇護に関するムスリムの権利を供与することでもある。ただし無辜の命を奪ったり、節操ある者にする姦通や、不信仰に戻ったりするような、イスラーム上、免罪されないケースは除く。
- 安全保障の法的妥当性、つまり求めるならば、敵に対して戦時の安全保障をすること。それはイスラームの健全性を示し、不信仰者への寛容性と配慮も示し、和平構築の証左である。

## 9. 悔悟章(アッ・タウバ)

マディーナ啓示

### 本章の趣旨:

多神教徒や偽信者との断絶とかれらとの闘争、悔い改める者には悔悟の門が開くこと。

### 説明:

① アッラーとその使徒は、あなた方信者がアラビア半島の多神教徒たちと結んだ盟約について、関係を遮断し、それを解約されることを宣言される。

② 多神教徒たちよ、4ヵ月間は領土内を自由に移動せよ。その後は、あなた方に何の盟約も安全保障もない。あなた方には不信仰を続ける限り、アッラーの懲罰や応報からの逃げ道もないことを知れ。またアッラーは、信仰を拒否する人たちに現世で、殺されたり捕虜になったりする恥辱を与える方であることを知れ。そして復活の日には、地獄の火に入れられる。これには、盟約を破る者や、期限のない盟約をしている者を含む。そして期限のある盟約をした者には、その期限が4ヵ月以上であっても守られるのだ。

③ そして巡礼の犠牲の日に、アッラーとその使徒から人々への宣言があつて、最早多神教徒たちとは無縁だというのだ。だからあなた方多神教徒が改心するならば、あなた方のために最も善い。しかし背き去るならば、アッラーからもその懲罰からも逃げられないということを知れ。預言者よ、信仰を拒否する人たちには、激しい苦痛が待っていることを知らせよ。

④ ただしあなた方信者が盟約した多神教徒たちで、盟約を何一つ破らなかつた人は従前の定めぬ例外である。だから期間満了まで、かれらとの盟約を果しなさい。誠にアッラーは、アッラーを畏れる人たちで、盟約を遵守することを含むその法規を遵守し、裏切りを含む禁止を避ける

كَيْفَ يَكُونُ لِلْمُشْرِكِينَ عَهْدٌ عِنْدَ اللَّهِ وَعِنْدَ رَسُولِهِ  
 إِلَّا الَّذِينَ عَاهَدْتُمْ عِنْدَ الْمَسْجِدِ الْحَرَامِ فَمَا اسْتَقْتُمُوا  
 لَكُمْ فَاسْتَقِيمُوا لَهُمْ إِنَّ اللَّهَ يَحِبُّ الْمُتَّقِينَ ﴿٧﴾  
 كَيْفَ وَإِن يَظْهَرُوا عَلَيْكُمْ لَا يَرْفُقُوا فِيكُمْ إِلَّا وَلَا  
 ذِمَّةً يُرْضُونَكُمْ بِأَفْوَاهِهِمْ وَتَأْبَى قُلُوبُهُمْ وَأَكْثَرُهُمْ  
 فَالْسِقُونَ ﴿٨﴾ أَشْتَرُوا بِبَايَاتِ اللَّهِ ثَمَنًا قَلِيلًا فَصَدُّوا عَن  
 سَبِيلِهِ إِنَّهُمْ سَاءَ مَا كَانُوا يَعْمَلُونَ ﴿٩﴾ لَا يَرْفُقُونَ  
 فِي مَوْمِنٍ إِلَّا وَلَا ذِمَّةً وَأُولَئِكَ هُمُ الْمُعْتَدُونَ ﴿١٠﴾ فَإِن  
 تَابُوا وَأَقَامُوا الصَّلَاةَ وَآتَوُا الزَّكَاةَ فَإِخْوَانُكُمْ فِي  
 الدِّينِ وَنَفَصَلُ الْآيَاتِ لِقَوْمٍ يَعْلَمُونَ ﴿١١﴾ وَإِن  
 نَكَثُوا أَيْمَانَهُمْ مِن بَعْدِ عَهْدِهِمْ وَطَعَنُوا فِي دِينِكُمْ  
 فَقَاتِلُوا أَيْمَةَ الْكُفْرِ إِنَّهُمْ لَا أَيْمَانَ لَهُمْ لَعَلَّهُمْ  
 يَنْتَهُونَ ﴿١٢﴾ أَلَا تَقْتُلُونَ قَوْمًا نَكَثُوا أَيْمَانَهُمْ  
 وَهَمُّوْا بِإِخْرَاجِ الرَّسُولِ وَهُمْ بَدَءُوكُمْ أَوَّلَ مَرَّةٍ  
 أَتُحْسِنُونَ فَاَللَّهُ أَحَقُّ أَنْ تَحْشَوْهُ إِن كُنْتُمْ مُؤْمِنِينَ ﴿١٣﴾

⑦ 多神教徒たちは、アッラーやその使徒と庇護保証の盟約はできない。ただしあなた方信者がアルマスジド・アルハラームで盟約したフダイビヤの協定は別として。かれらがあなた方に正直で、約束違反をしない限り、あなた方もかれらに正直でいよ。誠にアッラーは、アッラーを畏れ、その命令に従い禁止を守る人たちを愛する。

⑧ どうして敵側と庇護保証の盟約ができるのか。かれらはあなた方に対し優位に立てば、アッラーを忘れて血縁であれ盟約であれ、あなた方を顧みない。いや、かれらは最悪の罰則をあなた方に適用する。かれらは口先ではあなた方を喜ばせているが、心では拒否している。かれらは約束を守らず、その多くはアッラーに従わず、盟約破りの人々なのだ。

⑨ かれらは野望や俗欲を満たすために、この世のわずかな対価でアッラーの印を売り、盟約遵守を含めて、アッラーの道に従うことをせず、また人々を阻んだのだ。実にかれらの行ないは、凶悪である。

⑩ かれらは憎悪の余り、アッラーに対する考慮は欠けており、信者に関する血縁も盟約も顧みない。かれらこそは、不正で敵対的であり、アッラーの則を越える者である。

⑪ でもかれらが改心し、二つの信仰箇条宣言をして、礼拝の務めを守り、自分の財から定めぬ施しをするならば、かれらはムスリムとなり、あなた方の信仰における兄弟である。あなた方と同じ権利義務を持ち、あなた方が戦うことは非合法となる。イスラームを受け入れることで庇護が得られ、生命、資財、名誉が保たれる。アッラーは、啓示を知る人々に詳しく説明するのだが、それはかれらがそれから受益し、また他人も受益するようにさせることができるからである。

⑫ しかしかれらの不戦の盟約の後、その期限内で誓いを破り、あなた方の信仰を軽蔑し攻撃するならば、不信仰者たちと戦え。かれらは、不信仰の指導者であり、かれらにはその命を守る協定も約束もないのである。戦うことで、多分かれらは不信仰を止め、また盟約違反や宗教侮蔑をやめるであろう。

⑬ 信者たちよ、あなた方は自らの盟約や約束を破り、使徒(アッラーの祝福と平安を)をマッカのナドワの館での会合で追放しようと企てた人たち(多神教徒)と戦わないのか。かれらこそは、最初あなた方を攻撃し、クライシュ族の同盟者であるバクル族を支援し、使徒(アッラーの祝福と平安を)の同盟者であるフザーア族に敵対したのであった。あなた方は、かれらを恐れて、戦う気がないのか。しかし至高なるアッラーこそ、最も恐れるべきなのである。もし、あなた方が信者であるならば。

#### 本諸節の功徳:

- 盟約違反の多神教徒たちと戦う理由にはいろいろあるが、一番重要な理由としては、約束違反だということが、啓示で示される。
- 啓示にあるのは、礼拝や喜捨をしない人は、それらを履行するまで戦うべしということ。アブー・バクル(平安を)もそのようにされた。
- 「あなた方の信仰を侮蔑した」(12節)という表現は、意図的にそうする人は、殺されてしかるべきだという意味に解する学者もいる。
- 啓示にあるのは、アッラーを恐れる信者だけが、戦闘で勇気がある者だということを示している。

قَاتِلُوهُمْ يُعَذِّبُهُمُ اللَّهُ بِأَيْدِيكُمْ وَيُخْزِيهِمْ وَيَضْرِبُهُمْ  
عَلَيْهِمْ وَيَشْفِ صُدُورَ قَوْمٍ مُّؤْمِنِينَ ﴿١٤﴾ وَيَذْهَبَ غَيْظُ  
قُلُوبِهِمْ وَيَتُوبُ اللَّهُ عَلَى مَنْ يَشَاءُ وَاللَّهُ عَلِيمٌ حَكِيمٌ ﴿١٥﴾  
أَمْ حَسِبْتُمْ أَنْ تُتْرَكُوا وَلَمَّا يَعْلَمِ اللَّهُ الَّذِينَ جَاهَدُوا مِنْكُمْ  
وَلَمْ يَتَّخِذُوا مِنْ دُونِ اللَّهِ وَلَا رَسُولِهِ وَلَا الْمُؤْمِنِينَ وَلِيجَةً  
وَاللَّهُ خَبِيرٌ بِمَا تَعْمَلُونَ ﴿١٦﴾ مَا كَانَ لِلْمُشْرِكِينَ أَنْ يَعْمُرُوا مَسْجِدَ  
اللَّهِ شَاهِدِينَ عَلَىٰ أَنْفُسِهِمْ بِالْكَفْرِ أُولَٰئِكَ حَبِطَتْ  
أَعْمَالُهُمْ فِي النَّارِ هُمْ خَالِدُونَ ﴿١٧﴾ إِنَّمَا يَعْمُرُ مَسْجِدَ  
اللَّهِ مَنْ آمَنَ بِاللَّهِ وَالْيَوْمِ الْآخِرِ وَأَقَامَ الصَّلَاةَ وَآتَى  
الزَّكَاةَ وَلَمْ يَخْشَ إِلَّا اللَّهَ فَعَسَىٰ أُولَٰئِكَ أَنْ يَكُونُوا مِنَ  
الْمُهْتَدِينَ ﴿١٨﴾ \* أَجَعَلْتُمْ سِقَايَةَ الْحَاجِّ وَالْحَاجَّةِ الْمَسْجِدِ  
الْحَرَامِ كَمَنْ آمَنَ بِاللَّهِ وَالْيَوْمِ الْآخِرِ وَجَاهَدَ فِي سَبِيلِ  
اللَّهِ لَا يَسْتَوُونَ عِنْدَ اللَّهِ وَاللَّهُ لَا يَهْدِي الْقَوْمَ الظَّالِمِينَ  
﴿١٩﴾ الَّذِينَ آمَنُوا وَهَاجَرُوا وَجَاهَدُوا فِي سَبِيلِ اللَّهِ بِأَمْوَالِهِمْ  
وَأَنْفُسِهِمْ أَعْظَمُ دَرَجَةً عِنْدَ اللَّهِ وَأُولَٰئِكَ هُمُ الْفَائِزُونَ ﴿٢٠﴾

⑭信者よ、多神教徒と戦え。アッラーはあなた方信者の手によって、かれらを殺し、恥辱を与え、かれらに対して勝利を与え、かれらを捕虜にして、懲罰を与えようというのだ。そうして多神教徒を打ち負かし、あなた方が殺害し、捕虜を取り、敵を負かして勝利することによって、戦いに参加しなかった信者たちの心を慰められるのである。

⑮またこうして勝利を与えて、かれらの心の怒りを取り除かれる。アッラーは、御心にかなう人に慈悲をもって向かわれ、それまでは頑固であった者でも、改心し赦しを請うならば赦される。マッカがムスリムによって征服されたときのマッカの一部の人たちも、そのようにして赦された。アッラーは改心する人の誠実さを知っておられ、創造において英明で、さらにその運営と法制においても賢明である。

⑯それともあなた方信者たちは、試されないで放っておかれると思うのか。試練はアッラーがいつもされること。あなた方の中、誰が誠実に奮闘努力する人たちかを知るまで試される。かれらがアッラー、その使徒と信者たち以外を擁護者としていないかを確かめられる。また不信仰者とは親しくしていないということも。アッラーは、あなた方の行なうことをすべて知っておられ、何も隠せず、常に報奨はその行為に対して与えられるのである。

⑰多神教徒たちは不信仰を自認している状態で、その崇拜行為や服従行為によって、アッラーの礼拝所を差配すべきではない。これらの人たちは、条件である信仰がない以上、その行いは無益である。審判の日、かれらは地獄の火の中に入り、永遠に住むのである。ただし命が尽きる前に、多神教を捨てて、改心するなら別である。

⑱アッラーの礼拝所を差配する人たちとは、何ものもアッラーと同列に配することなく、最後の日を信じ、礼拝の務めを守り、自分の財から定めぬ施しをなし、至高なるアッラー以外の何ものも恐れぬ人たちだけである。これ

らの人たちは、まっすぐな道に導かれ、それ以外の不信仰者たちは、そこから最も離れているのである。

⑲不信仰者たちは、巡礼者に水を飲ませることやアルマシド・アルハラームを差配することを、何ものも同列に配することなくアッラーと最後の日を信じ、命と富を捧げてアッラーの言葉を最高のものにして、不信仰者たちの言葉は最低のものにするために奮闘努力する人たちの行ないを、同じだと考えるのか。かれらはアッラーの御元において、同じ美德を持っているとするのか。そうではなく、多神教で悪をなす者に成功はない。それはたとえかれらが巡礼者に水を与えるなどの善行をしても、信者と同じではない。

⑳信仰して非イスラーム地域からイスラームの地域に移住し、アッラーの道のために財産と生命を捧げて奮闘努力した人たちには、アッラーの御元において最高の位階がある。これらの人こそ、樂園を獲得する者である。

### 本諸節の功德:

- 啓示では、信者へのアッラーの愛が、かれらの様々な事情に応じて配慮されることが示される。その法規の目的は、かれらの心の中を癒して、かれらの怒りを鎮めることである。
- アッラーはこの偉大な目的達成のために、ジハードを定められた。それでアッラーの教えに専念する者たちと、信仰していると嘘をつく者たちとを区別されるのだ。
- マシドの正当な運営者は、信仰を持ち、善行に努める者である。一番重要なことは、礼拝の励行、義務である喜捨をすること、そしてアッラーに対して畏怖を維持することだが、最後の点はすべての善行の原点である。
- アッラーの道のために奮闘努力し、信心を維持することは、巡礼者に水を与え、禁忌のあるマシドを維持運営するよりも、はるかに善いことである。というのは、信心は宗教の根源であり、アッラーのために奮闘するのは、その頂点にあるからだ。



21)かれらの主アッラーは、かれらにその慈悲と満悦、永遠の快適さのある楽園という吉報を与える。かれは絶対に、かれらに対して怒ることはない。

22)かれらは現世での善行に鑑みて、楽園の中に永遠に住む。アッラーの御元には偉大な報酬があり、その命令に従い禁止からは遠ざかる者であり、かれらはアッラーに専一に仕えるのだ。

23)信仰する人たちよ、もしあなた方の父と兄弟、さらにその他の親戚が、信仰より不信心を好むならば、信者の秘密を漏らしたり、相談を持ち掛けたりして、かれらを親密な守護者としてはならない。その不信仰にも拘らず、もしあなた方の中、かれらを守護者としていたり、親愛の情を示す人があれば、これらの人はアッラーに反抗し、不正を犯す人たちであり、自身に対して破滅をもたらすことになる。

24)使徒よ、信者たちに言え。あなた方の父たち、息子たち、兄弟たち、あなた方の妻たち、近親たち、あなた方の手に入れた財産、あなた方が増大させたいが不景気になることを恐れる商売、あなた方が好む住まいが、もしもアッラーとその使徒、そしてアッラーの道のために奮闘努力することよりも、あなた方にとって好ましいならば、アッラーがその懲罰をもたらすまで待て。アッラーは、反抗する者が好ましい行いをして、容易には認められない。

25)確かにアッラーは、敵や多神教徒たちに対して、多くの戦いであなた方信者を助けられた。それはあなた方の少ない軍勢や準備にも拘らず、アッラーを信じ、適切な措置を取ったからである。あなた方は自分の多勢に満足したのではなかったし、それは勝利の原因ではなかった。しかしフナインの戦いの日、あなた方は多勢であり喜んで、負けるわけではないと言っていた。だがそれは何も役に立たず、敵が勝利して、大地はこのように広いのに、あなた方には狭くなってしまい、遂にあなた方は背を向けて退却した。

26)それからアッラーは、その使徒と信者たちの上に、かれの静穩(サキーナ)をもたらし、戦闘での忍耐を与えられた。またあなた方には見えない天使を遣わして、不信心な人たちを死、捕虜、資財没収、婦女子拘束などで処罰された。これが使徒とかれがもたらしたものに反逆したことについての、不信仰者への報いなのであった。

#### 本諸節の功德:

- アッラーのため尽力する者には高い位階が与えられる。アッラーの元では最高位であり、最高の特権と地位があり、成功し勝利し守られて、永遠の恵みという吉報が伝えられる。
- 啓示には、アッラーと使徒への信者の愛情の必要性が示され、この愛情を他のどのような愛情よりも優先する必要性が示される。
- フナインの戦いは特筆に値する。それは、アッラーと使徒の命令に従うことでアッラーの支援が来るが、この世の享楽を好むことで敗北がやって来るとい、好例を示しているからだ。
- アッラーが下される静穩(サキーナ)について。使徒(アッラーの祝福と平安を)には、同行するムスリムに安心とアッラーの支援を確信させた。信者には、堅固な姿勢を与え、不安と恐怖を脱して勇気を与えた。

يُبَشِّرُهُمْ رَبُّهُمْ بِرَحْمَةٍ مِنْهُ وَرِضْوَانٍ وَجَعَلْتُمْ لَهُمْ فِيهَا  
 نَعِيمًا مُّقِيمًا ﴿٢١﴾ خَالِدِينَ فِيهَا أَبَدًا إِنَّ اللَّهَ عِنْدَهُ أَجْرٌ  
 عَظِيمٌ ﴿٢٢﴾ يَتَأْتِيهَا الَّذِينَ ءَامَنُوا لَا تَتَّخِذُوا ءِآبَاءَكُمْ  
 وَءِخْوَانَكُمْ ءَوْلِيَاءَ إِنِ اسْتَحَبُّوا إِلَّكَ فَرَّ عَلَى الْإِيمَانِ  
 وَمَنْ يَتَوَلَّهُمْ مِنْكُمْ فَاُولَئِكَ هُمُ الظَّالِمُونَ ﴿٢٣﴾ قُلْ إِن  
 كَانَ ءِآبَاؤُكُمْ وَءِبنَاؤُكُمْ وَءِخْوَانُكُمْ وَأَزْوَاجُكُمْ  
 وَعَشِيرَتُكُمْ وَأَمْوَالٌ اقْتَرَفْتُمُوهَا وَتِجَارَةٌ تَخْشَوْنَ  
 كَسَادَهَا وَمَسَاكِينُ تَرْضَوْنَهَا أَحَبَّ إِلَيْكُمْ مِنَ اللَّهِ  
 وَرَسُولِهِ وَجِهَادٍ فِي سَبِيلِهِ فَتَرْتَصُّوا حَتَّى يَأْتِيَ اللَّهَ  
 بِأَمْرٍ ءٍ وَاللَّهُ لَا يَهْدِي الْقَوْمَ الْفَاسِقِينَ ﴿٢٤﴾ لَقَدْ نَصَرَكُمُ  
 اللَّهُ فِي مَوَاطِنَ كَثِيرَةٍ وَيَوْمَ حُنَيْنٍ إِذْ أَعْجَبْتُمْكُمْ  
 كَرْتَكُمْ فَلَمْ تَنْغِنَ عَنْكُمْ شَيْئًا وَضَاقَتْ عَلَيْكُمْ  
 الْأَرْضُ بِمَا رَحُبَتْ ثُمَّ وَابَسْتُمْ مَدْيَنَ ﴿٢٥﴾ ثُمَّ أَنْزَلَ اللَّهُ  
 سَكِينَتَهُ عَلَى رَسُولِهِ وَعَلَى الْمُؤْمِنِينَ وَأَنْزَلَ جُنُودًا  
 لَمْ تَرَوْهَا وَعَذَّبَ الَّذِينَ كَفَرُوا وَذَلِكَ جَزَاءُ الْكٰفِرِينَ ﴿٢٦﴾

ثُمَّ يَتُوبُ اللَّهُ مِنْ بَعْدِ ذَلِكَ عَلَى مَنْ يَشَاءُ وَاللَّهُ  
 غَفُورٌ رَحِيمٌ ﴿٢٧﴾ يَا أَيُّهَا الَّذِينَ آمَنُوا إِنَّمَا الْمُشْرِكُونَ  
 نَجَسٌ فَلَا يَقْرَبُوا الْمَسْجِدَ الْحَرَامَ بَعْدَ عَامِهِمْ هَذَا  
 وَإِنْ خِفْتُمْ عَيْلَةً فَسَوْفَ يُغْنِيكُمْ اللَّهُ مِنْ فَضْلِهِ  
 إِنَّ شَاءَ آتٍ اللَّهُ عَلَيْكُمْ حَكِيمٌ ﴿٢٨﴾ قَاتِلُوا الَّذِينَ  
 لَا يُؤْمِنُونَ بِاللَّهِ وَلَا بِالْيَوْمِ الْآخِرِ وَلَا يُحَرِّمُونَ  
 مَا حَرَّمَ اللَّهُ وَرَسُولُهُ وَلَا يَدِينُونَ دِينَ الْحَقِّ مِنَ  
 الَّذِينَ أُوتُوا الْكِتَابَ حَتَّى يُعْطُوا الْجِزْيَةَ عَنْ يَدٍ  
 وَهُمْ صَاغِرُونَ ﴿٢٩﴾ وَقَالَتِ الْيَهُودُ عُزَيْرُ ابْنُ اللَّهِ  
 وَقَالَتِ النَّصْرِيُّ الْمَسِيحُ ابْنُ اللَّهِ ذَلِكَ قَوْلُهُمْ  
 بِأَفْوَاهِهِمْ يُضَاهِئُونَ قَوْلَ الَّذِينَ كَفَرُوا مِنْ قَبْلُ  
 قَاتَلَهُمُ اللَّهُ أَنَّى يُؤْفَكُونَ ﴿٣٠﴾ اتَّخَذُوا أَحْبَارَهُمْ  
 وَرُهَبَانَهُمْ أَرْبَابًا مِنْ دُونِ اللَّهِ وَالْمَسِيحَ ابْنَ  
 مَرْيَمَ وَمَا أُمِرُوا إِلَّا لِيَعْبُدُوا إِلَهًا وَاحِدًا  
 لَا إِلَهَ إِلَّا هُوَ سُبْحَانَهُ عَمَّا يُشْرِكُونَ ﴿٣١﴾

②7) しかしその罰の後、不信仰と誤道を拒否する人については、アッラーはその改心を受け入れる。アッラーは、真実を拒否し不信仰に走った後でも、改心する者はよく赦される方であり、慈悲深い方である。

②8) アッラーと預言者を信じる人でアッラーの定めを守る人たちは、実に多神教徒は不浄である。かれらの不信仰、不正、卑しい性格、そして悪い慣習のためである。だからこのイスラム暦9年以後、かれらはアルマスジド・アルハラームのあるマッカに大小の巡礼者として入ってはならない。多神教徒たちが最早食料や商品をもたらさないで、あなた方が貧困を恐れても、アッラーがお望みになれば、その寵愛で十分なのである。アッラーは、あなた方の状況をよく御存じで、その計画において英明である。

②9) 信者たちよ、アッラーを唯一の主とせず、また最後の日も信じない不信仰者や、アッラーとその使徒が禁じたことを禁じない不信仰者(例えば、死肉、豚、飲酒、利子など)、そしてアッラーの命令に従わない不信仰者と戦いなさい。またそれら不信仰者の中で、ユダヤ教徒やキリスト教徒については、かれらが自ら進んで税(ジズヤ)を納め、屈服するまで戦いなさい。

③0) ユダヤ教徒はウザイルをアッラーの子であると言い、キリスト教徒はマシーフ・イーサーをアッラーの子であると言う。これはかれらが口先で言うことであり、アッラーによる証明はない。天使はアッラーの娘であると言っていた以前の不信仰者のようなものだ。アッラーはそのようなことから遠く無縁なお方。アッラーがかれらを滅ぼしてしまわれるよう。真実から背き、虚偽に向かうとは、かれらは一体どうしたことが。

③1) ユダヤ教徒はアッラーの他に律法学者を、またキリスト教徒は聖職者を主として、アッラーが禁止したことを許し、アッラーが許したことを禁止する。マルヤムの子マス

ーフ・イーサーは、キリスト教徒によってアッラーに次ぐ神とされた。しかしユダヤ教徒の学者たちやキリスト教徒の聖職者、そしてウザイルやイーサーは、唯一神に仕える以外のことは命じられなかった。かれの他に神はなく、かれ以外に崇拜されるものはない。多神教徒たちが言うように同位者があるというのではなく、はるかに至高で清浄無欠である。

#### 本諸節の功德:

- この諸節においては、糧を得るための手段に心が傾くことは許され、それはアッラーに依拠することに反しないと示されている。
- この諸節においては、糧は尽力のお陰ではなく、それはその配分をつかさどるアッラーの恩寵によるとされる。
- ジズヤ税はイスラムが敵に提示する3つの選択肢の一つである。それらの目的は、ムスリムを強化し、不信仰者を弱体化させることである。
- ユダヤ教徒には、アッラーに挑戦的で、至高なるアッラーの偉大さに傷をつけるような、悪性と悪癖がある。

يُرِيدُونَ أَنْ يُطْفِئُوا نُورَ اللَّهِ بِأَفْوَاهِهِمْ وَيَأْبَى اللَّهُ إِلَّا أَنْ  
يَتِمَّ نُورُهُ وَلَوْ كَرِهَ الْكَافِرُونَ ﴿٣٣﴾ هُوَ الَّذِي أَرْسَلَ  
رَسُولَهُ بِالْهُدَى وَدِينٍ الْحَقِّ لِيُظْهِرَهُ عَلَى الدِّينِ  
كُلِّهِ وَلَوْ كَرِهَ الْمُشْرِكُونَ ﴿٣٤﴾ يَتَأْتِيهَا الَّذِينَ  
ءَامَنُوا إِنَّ كَثِيرًا مِنَ الْأَحْبَارِ وَالرُّهْبَانِ لِيَآكُلُونَ  
أَمْوَالَ النَّاسِ بِالْبَطْلِ وَيَصُدُّونَ عَنْ سَبِيلِ اللَّهِ وَالَّذِينَ  
يَكْزُرُونَ الذَّهَبَ وَالْفِضَّةَ وَلَا يَنْفِقُونَهَا فِي  
سَبِيلِ اللَّهِ فَبَشِّرْهُم بِعَذَابٍ أَلِيمٍ ﴿٣٥﴾ يَوْمَ يَحْمَى عَلَيْهَا  
فِي نَارِ جَهَنَّمَ فَيُكْوَى بِهَا جِبَاهُهُمْ وَجُنُوبُهُمْ  
وُظُهُورُهُمْ هَذَا مَا كَنَزْتُمْ لِأَنْفُسِكُمْ فَذُوقُوا مَا كُنْتُمْ  
تَكْزُرُونَ ﴿٣٦﴾ إِنَّ عِدَّةَ الشُّهُورِ عِنْدَ اللَّهِ اثْنَا عَشَرَ  
شَهْرًا فِي كِتَابِ اللَّهِ يَوْمَ خَلَقَ السَّمَوَاتِ وَالْأَرْضَ مِنْهَا  
أَرْبَعَةٌ حُرُمٌ ذَلِكَ الدِّينُ الْقَيِّمُ فَلَا تَظْلِمُوا فِيهِنَّ  
أَنْفُسَكُمْ وَقَاتِلُوا الْمُشْرِكِينَ كَافَّةً كَمَا  
يَقَاتِلُونَكُمْ كَافَّةً وَأَعْلَمُوا أَنَّ اللَّهَ مَعَ الْمُتَّقِينَ ﴿٣٧﴾

الجزء  
١٠

32) 様々なグループの不信仰者たちは、偽の信仰を作り、ムハンマド(アッラーの祝福と平安を)を拒否し、アッラーの教えを消そうとする。唯一神とその使徒が真実をもたらしたことを明確に証明するのを、妨げる。しかしアッラーはその道を完遂し、明瞭にするのを阻止されることは許されない。他のどの宗教よりもイスラームを高い位置に置かれ、たとえ不信仰者たちが嫌悪しても、アッラーがお望みのところを阻止することができるものは何もないのである。

33) アッラーこそが、導き(クルアーン)と真実の教えをもってその使徒(アッラーの祝福と平安を)を遣わし、イスラームを確立された。たとえ多神教徒たちが嫌っても、証明、証拠、そして法規をもって、すべての宗教の上にイスラームを掲げるためであった。

34) 信仰し法規に従う人たちは、ユダヤ教の律法学者やキリスト教の僧職者の多くは、収賄などで不当に人々の財産を大食いし、アッラーの道から人々を妨げている。預言者よ、かれらは金銀を蓄えて、それを喜捨に使って清めようとしなさい。使徒よ、審判の日、かれらには、痛々しい苦痛のあることを知らせよ。

35) 審判の日、ため込んで正しく使用しなかった金銀は、地獄の火で熱せられる。そして熱くなったら、かれらの額やわき腹や背に押し付けられる。非難されつつ、これはあなた方が自分のために蓄積したもので、命じられたように支出もしなかったと言われる。また、自らが蓄積し正しく支出しなかったその悪い結末を、味わうようにと。

36) 確かにアッラーの御元で1年の月数は12か月で、それはアッラーが諸天と地を創造された日に、アッラーの書板の中で定められた。その内4か月は、戦争が禁じられている。そのうちの3か月(ズー・アルカアダ、ズー・アルヒジャ、ムハッラム)は続いており、1か月(ラジャブ)は離れている。12か月あって、そのうち4か月は聖月とするのが、正しい宗教だ。だからその禁忌期間、戦闘して汚して、自らの精神に不正をしてはならない。そして多神教徒が全員であなた方と戦うように、あなた方も全員で戦いなさい。アッラーは、アッラーを畏れ、命令に従い禁止を守る人たちと共にいて、支援することを知りなさい。アッラーが支援される者たちを負かすことは誰にもできないのだ。

37) 悔悟の道は、アッラーの御元で1年の月数は12か月で、それはアッラーが諸天と地を創造された日に、アッラーの書板の中で定められた。その内4か月は、戦争が禁じられている。そのうちの3か月(ズー・アルカアダ、ズー・アルヒジャ、ムハッラム)は続いており、1か月(ラジャブ)は離れている。12か月あって、そのうち4か月は聖月とするのが、正しい宗教だ。だからその禁忌期間、戦闘して汚して、自らの精神に不正をしてはならない。そして多神教徒が全員であなた方と戦うように、あなた方も全員で戦いなさい。アッラーは、アッラーを畏れ、命令に従い禁止を守る人たちと共にいて、支援することを知りなさい。アッラーが支援される者たちを負かすことは誰にもできないのだ。

### 本諸節の功德:

- アッラーの教えは勝利を約束されており、敵が嫉妬心からどのように攻めて来ても同じことである。
- 人々の資財を無駄に食い荒らすことは禁止され、至高なるアッラーの道を阻止することも禁止されている。
- アッラーのために支出することなく金銭を貯めることは、禁止される。
- 見えようが見えまいが、アッラーを畏れることは、特に真実を拒否する者と戦うときには、極めて重要である。信者はいつもアッラーを畏れるものである。

إِنَّمَا النَّسِيءُ زِيَادَةٌ فِي الْكُفْرِ يُضَلُّ بِهِ الَّذِينَ  
 كَفَرُوا يُحْلُونَهُ وَعَامًا وَيُحْرِمُونَهُ وَعَامًا يُوَاطِئُونَ  
 عِدَّةَ مَا حَرَّمَ اللَّهُ فَيَحْلُوا مَا حَرَّمَ اللَّهُ ذُنُوبَ لَهُمْ  
 سُوءُ أَعْمَالِهِمْ وَاللَّهُ لَا يَهْدِي الْقَوْمَ الْكَافِرِينَ  
 ﴿٣٧﴾ يَا أَيُّهَا الَّذِينَ آمَنُوا مَا لَكُمْ إِذَا قِيلَ لَكُمْ  
 أَنْفِرُوا فِي سَبِيلِ اللَّهِ أَتَأْتَلْتُمْ إِلَى الْأَرْضِ أَنْ رَضِيَ  
 بِهَا الْحَيَاةَ الدُّنْيَا مِنَ الْآخِرَةِ فَمَا مَتَّعَ الْحَيَاةَ  
 الدُّنْيَا فِي الْآخِرَةِ إِلَّا قَلِيلٌ ﴿٣٨﴾ الْإِنْتِفَاءُ يُعَدُّ بِكُمْ  
 عَذَابًا أَلِيمًا وَيَسْتَبْدِلُ قَوْمًا غَيْرَكُمْ وَلَا تَنْصُرُوهُ  
 شَيْئًا وَاللَّهُ عَلَى كُلِّ شَيْءٍ قَدِيرٌ ﴿٣٩﴾ إِلَّا أَنْصُرُوهُ  
 فَقَدْ نَصَرَهُ اللَّهُ إِذْ أَخْرَجَهُ الَّذِينَ كَفَرُوا ثَلَاثِينَ  
 إِذْ هَمَّ فِي الْغَارِ إِذْ يَقُولُ لِصَاحِبِهِ لَا تَحْزَنْ إِنَّ اللَّهَ  
 مَعَنَا فَأَنْزَلَ اللَّهُ سَكِينَتَهُ عَلَيْهِ وَأَيَّدَهُ بِجُودٍ  
 لَمْ تَرَوهَا وَجَعَلَ لِكَلِمَةِ الَّذِينَ كَفَرُوا السُّفْلَى  
 وَكَلِمَةُ اللَّهِ هِيَ الْعُلْيَا وَاللَّهُ عَزِيزٌ حَكِيمٌ ﴿٤٠﴾

③⑦ 聖月のムハラムを延期することは、イスラーム以前の無知の時代にはあったが、不信心の新たな事例となり、またアッラーの法規を拒否することとなる。これによって、悪魔はさらに不信仰者を迷い去らせる。かれらはある年は聖月を普通の月と交換して合法とし、ある別の年は禁忌のままとする。かれらはそうすることで、アッラーが禁忌とした月の数と合わせるため、アッラーが禁忌とした月を合法としてしまう。悪魔の悪い行ないが、かれらにとってうべが立派に見せられたのだ。しかし事實は、それは勝手に聖月を延期しているに過ぎない。アッラーは、不信仰の民と不信仰に固執する人たちを導かず、成功させることはない。

③⑧ 信仰して法規に従う人たちよ、アッラーの道のために出征せよと言われたとき、あなた方は慎重になり、家から出たがらないとは、どうしたことか。あなた方はアッラーがその道に奮闘尽力する人たちのために準備された来世の永劫の恵みよりも、現世の一次的な生活と時々享楽を喜ぶのか。しかし現世の生活の楽しみは、来世に比べればわずかなものにすぎない。一次的なものを永劫のものより好ましいとするような人が、理性を持った人にいるのか。あるいはつまらないものを、偉大なものよりも好むというようなことが。

③⑨ 信者よ、もしあなた方が敵との戦いに出征しないならば、アッラーは敗北と恥辱でもって報いられ、他のアッラーに服従する民をもってあなた方の代わりにするだろう。かれらは呼ばれば、戦うために走ってやって来るのだ。命令に背いても、あなた方は少しもアッラーを害することはできない。というのは、あなた方はかれを必要としているが、かれはあなた方を必要としていないからだ。アッラーはすべてに対して全能で、何もかれに不可能なものはなく、かれにとってその宗教と預言者をあなた方なしで勝利させることは、いとも簡単なのだ。

④⑩ 信者たちよ、たとえあなた方がムハンマド(アッラーの祝福と平安を)を助けずに、アッラーの道に尽力するというその呼び掛けに答えなくても、確かにアッラーはかれを助けたのである。不信仰者たちにマッカを追い出されて、1人の友と2人(ムハンマドと教友のアブー・バクルでサウル山の洞窟に逃れていたとき、かれはその教友に向かって言った。悲しんではいけない、アッラーは確かにわたしたちと共におられて、支援し助力されるのだ。するとアッラーはその静穏(サキーナ)を、ムハンマドに降ろされ、あなた方には見えないけれど、天使の軍勢でかれらを強めた。そして不信仰者たちの言葉を最も低くし、その教えを救うことでアッラーの言葉を最も高めたのであった。誠にアッラーはその本質と権勢と力において、最も偉力大で、何もかれを負かせることはできず、その企画と命令と法規において、英明である。

#### 本諸節の功德:

- 法規に反する慣行は、拒否されることなく継続すれば、それを人は間違っているとは考えずに善い慣行と考え始めるものだ。
- 戦いに召喚されても集結しないのは、大きな罪作りである。それが厳しい懲罰の対象となるのは、それが大きな被害をもたらすからである。
- 心が千々に乱れる困難と恐怖の時に、アッラーが信者の心に送られる平安と安心感は、アッラーの僕に対する完璧な恵みを示している。それはその信者の主に関する知識と、真実の約束に対する信頼と、また信仰と勇氣の度合いによるのである。
- 何らかの大きな公益が失われる恐れがあると誠実なアッラーの僕でも悲しみに襲われることがある。

أَنْفِرُوا خِفَافًا وَثِقَالًا وَجَاهِدُوا بِأَمْوَالِكُمْ وَأَنْفُسِكُمْ  
 فِي سَبِيلِ اللَّهِ ذَٰلِكُمْ خَيْرٌ لَّكُمْ إِنْ كُنْتُمْ تَعْلَمُونَ  
 ٤١ لَوْ كَانَ عَرَضًا قَرِيبًا وَسَفَرًا قَاصِدًا لَاتَّبَعُوكَ  
 وَلَكِنْ بَعُدَتْ عَلَيْهِمُ الشُّقَّةُ وَسَيَحْلِفُونَ بِاللَّهِ  
 لَوِ اسْتَطَعْنَا الْخُرُوجَ مَعَكُمْ يُهْدِئُونَ أَنْفُسَهُمْ وَاللَّهُ  
 يَعْلَمُ إِنَّهُمْ لَكَاذِبُونَ ٤٢ عَمَّا اللَّهُ عَنْكَ لِمَ أَذِنْتَ لَهُمْ  
 حَتَّىٰ يَتَّبِعَنَ لَكَ الَّذِينَ صَدَقُوا وَتَعْلَمَ الْكَافِرِينَ  
 ٤٣ لَا يَسْتَعِدُّنَكَ الَّذِينَ يُؤْمِنُونَ بِاللَّهِ وَالْيَوْمِ الْآخِرِ أَنْ  
 يُجَاهِدُوا بِأَمْوَالِهِمْ وَأَنْفُسِهِمْ وَاللَّهُ عَلِيمٌ بِالْمُتَّقِينَ ٤٤  
 إِنَّمَا يَسْتَعِدُّنَا الَّذِينَ لَا يُؤْمِنُونَ بِاللَّهِ وَالْيَوْمِ الْآخِرِ  
 وَأَرَادُوا أَن يُجَاهِدُوا وَلَوْ أَنَّ قُلُوبُهُمْ فَهَمُّ فِي رَبِّهِمْ يَتَرَدَّدُونَ ٤٥ وَلَوْ  
 أَرَادُوا الْخُرُوجَ لَأَعَدُّوا لَهُ عُدَّةً وَلَكِنَّ اللَّهَ أَنبَعَثَهُمْ  
 فَتَطَّهَرُوا وَيَقِيلُ أَعْدُوا مَعَ الْقَاعِدِينَ ٤٦ لَوْ خَرَجُوا فِيكُمْ  
 مَا زَادُواكُمْ إِلَّا حَبَالًا وَلَا أُضْعِفُوا إِلَّا لَكُمْ يَبْعُونَكُمُ  
 الْفِتْنَةَ وَفِيكُمْ سَمَّاعُونَ لَهُمْ وَاللَّهُ عَلِيمٌ بِالظَّالِمِينَ ٤٧

41 信者よ、進軍せよ。あなた方は難しい、あるいは容易な中で、年齢にかかわらず、あなた方の財産と生命を捧げて、アッラーの道のために奮闘努力せよ。そうすることが家に引きこもって自分の資財と自身のことに終始しているよりもはるかによいからだ。それは現世と来世にわたって利益をもたらす。もしあなた方が理解するならば、それに従うように。

42 偽信者たちは出征しない許可を求めたが、もしあなた方が彼らに呼びかけているのが容易な戦利品と楽な旅だったなら、かれらはあなたに従っただろう。しかし敵までの出征の道りは遠すぎたので、かれらは後に残ってしまった。こういう偽信者たちは、預言者が再び帰るとアッラーに誓って、もしできることならば、一緒に出征したのに、などと言い張るだろう。かれらはアッラーの懲罰に自身をさらけ出して、自分自身を滅ぼしているのである。かれらは後に残り、嘘の証言をしたというのに。もちろんアッラーはかれらが、嘘つきで、偽の証言をしていることはご存知である。

43 使徒よ、アッラーが、あなたがかれらに後に残る許可を出したことについて、あなたを赦されるように。なぜあなたは、嘘つきではなく真実を言う人たちに許しを与えるのではなく、誰が真実を言う人たちであり、誰が嘘付きの人たちかが分かる前に、家に留まることを許したのか。

44 アッラーと最後の日信じ人たちは、自分の財産と生命を捧げて奮闘努力しないで、家に残ることを許すことを、預言者(アッラーの祝福と平安を)に求めたりはしないものである。アッラーは、アッラーを畏れる人たちで、あなたと共に出征できない理由があるので後に残る許しを求める人たちを、よくご存知なのだ。

45 信者よ、アッラーと最後の日信じない人たちだけが、預言者(アッラーの祝福と平安を)に居残りの許しを求める。かれらは偽信者で、疑いの中に混乱して揺れ動く。かれらは真実に導かれていない。

46 もしかれらに出征する意志があったならば、そのために準備をしていたはずだ。でもアッラーは、かれらを出征させることを嫌われて、動かされなかったのだ。

47 かれらがあなた方と出征しなかったのは良いことだったのである。もし出征しても、かれらはただ足手まといになるだけで、問題を増やすだけだったのだ。かれらは仲間の士気を落とし、疑念を醸し出し、戦列を乱し、分裂の噂を撒いたりしただろう。信者たちよ、あなた方の内には、かれらの嘘に耳を傾け、信じたり、広めたりして、仲間の議論を紛糾させる者がいる。しかしアッラーは、不正を行なう人々をよくご存知で、かれらは信者の間に策謀を広げて、疑念を信者に植え付ける。

#### 本諸節の功德:

- 必要に応じて、いつも資財と命を懸けて、アッラーの道に尽力すること。
- 偽の信仰は、破滅をもたらす。
- 性急さを控え、確認しつつ進めること。熟慮の時間を取り、外見で騙されないこと、精査して調査することの重要性。
- 偽信者たちが信者と一緒に出陣することを禁じられたのは、アッラーによる信者への配慮からである。慈悲であり、親切心である。役に立たないで被害を及ぼす者などは同行しないということである。

لَقَدْ ابْتَغُوا الْفِتْنَةَ مِنْ قَبْلُ وَقَلَّبُوا لَكَ الْأُمُورَ حَتَّى  
جَاءَ الْحَقُّ وَظَهَرَ أَمْرُ اللَّهِ وَهُمْ كَرِهُونَ ﴿٤٨﴾ وَمِنْهُمْ  
مَنْ يَقُولُ أُنْزِلَ لِي وَالْآيَاتُ الْفِتْنَةَ سَقَطُوا وَإِنْ جَهَنَّمُ  
لَمُحِيطةٌ بِالْكَافِرِينَ ﴿٤٩﴾ إِنْ نُصِبَكَ حَسَنَةٌ لَسَوْهُمْ  
أَخَذْنَا أَمْرًا مِنْ قَبْلُ وَتَوَلَّوْا وَهُمْ فَرِحُونَ ﴿٥٠﴾ قُلْ  
لَنْ يُصِيبَنَا إِلَّا مَا كَتَبَ اللَّهُ لَنَا هُوَ مَوْلَانَا وَعَلَى اللَّهِ  
فَالْيَتَوَكَّلِ الْمُؤْمِنُونَ ﴿٥١﴾ قُلْ هَلْ تَرَبَّصُونَ بِنَا إِلَّا  
إِحْدَى الْحُسَيْنَيْنِ وَتَحْنُنُ تَرَبَّصْ بِكُمْ أَنْ يُصِيبَكُمْ اللَّهُ  
بِعَذَابٍ مِنْ عِنْدِهِ أَوْ بِأَيْدِينَا فَتَرَبَّصُوا إِنَّا مَعَكُمْ  
مُتَرَبِّصُونَ ﴿٥٢﴾ قُلْ أَنْفُؤا طَوْعًا أَوْ كَرْهًا لَنْ يُتَقَبَلَ  
مِنْكُمْ إِنَّكُمْ كُنْتُمْ قَوْمًا فَاسِقِينَ ﴿٥٣﴾ وَمَا  
مَنَعَهُمْ أَنْ تُقَبَلَ مِنْهُمْ نَفَقَتُهُمْ إِلَّا أَنَّهُمْ كَفَرُوا  
بِاللَّهِ وَبِرَسُولِهِ وَلَا يَأْتُونَ الصَّلَاةَ إِلَّا وَهُمْ  
كُسَالَى وَلَا يُنْفِقُونَ إِلَّا وَهُمْ كَرِهُونَ ﴿٥٤﴾

よる殺害あるいは捕獲で、かれらに罰がもたらされることを待とう。だからあなた方は、わたしたちの結果を待て。わたしたちも、あなた方の結果を待つ。

〔53〕使徒よ、言え。たとえあなた方が、本意または不本意に施しをしても、決して受け入れられない。それはあなた方の不信仰とアッラーに対する忠誠心がないためである。

〔54〕かれらの施しが受け入れられてもらえないのは、3つの理由のためである。かれらがアッラーとその使徒を信じないため、礼拝に来てても気乗りせず無関心なため、また施しをしても嫌々するためである。礼拝や施しから、何も得るところはないと考えているのである。

#### 本諸節の功德:

- 偽信者はいつも信者に対して、何か危害を加えようとしている。企てやスパイ行為をする。
- ジハードに遅れを取ることは、大きな腐敗であり、アッラーとその使徒に対する反逆である。
- 啓示には、ムスリムは困難に悲しむなどある。それは弱体化して希望を失わないためである。アッラーの命令を守り、そのご満悦を望むべきである。アッラーは確かに、その教えが勝利することを望まれているのだ。
- 信仰が弱まりアッラーの畏れが薄れる兆候は、礼拝を怠り、施しは嫌々行こうになり、報奨への望みも薄れることである。

〔48〕これらの偽信者たちはタブークでの戦闘の以前にも信者間に不和を望んだ。そして企てにより、使徒(アッラーの祝福と平安あれ)に困難を与えようとした。その戦闘意思を弱めようとしたのだ。しかしアッラーの支援がやって来て、あなたとイスラームを力づけ、敵を打ち負かした。かれらはそれを嫌がっていたが、過ちが真実を打ち負かすことを望んでいたのだ。

〔49〕偽信者の中には、虚偽の口実を用いてこう言った人がいた。預言者よ、わたしが家に留まることを許してください。かれらはたとえば、敵側のローマ人女性などの試練に会って罪を犯したくないので、そう願ったと主張するのだ。でもかれらはすでに大きな罪を犯した、それは偽の信仰ということであり、家に留まるということ。審判の日、地獄は不信仰者を取り囲み、それを逃れ、あるいはそれから離れることはできないのだ。

〔50〕もし使徒に勝利や戦利品などの善いことがもたらされると、それを嫌って、かれらは悲しむ。でも困難や敗戦などの災厄があなたを襲うと、かれらは言う。わたしたちは以前から用心していたのだ、正しい判断をして信者のようには出征しないで家に留まり、殺されもしないし捕虜にもならなかったと。そして、その身の安全につき、喜んで家族のもとへと背き去る。

〔51〕使徒よ、これらの偽信者に言え。アッラーがわたしたちに書き記されたこと他には、何もわたしたちにふりかかるものはない。かれは、わたしたちの擁護者で、避難所である。すべてにおいて信頼されるお方。信者たちにアッラーに任せよ、かれはかれらにとって十分であり、最善の擁護者である。

〔52〕使徒よ、かれらに言え。偽信者は、われわれの戦勝または殉教という二つの善の他に、何を待っているのか。わたしたちは、アッラーからの許しでああなた方と戦うならば、アッラー御自身によるか、もしくはわたしたちの手に

فَلَا تَعْجَبْكَ أَمْوَالُهُمْ وَلَا أَوْلَادُهُمْ إِنَّمَا يُرِيدُ اللَّهُ لِيُعَذِّبَهُمْ  
 بِهَا فِي الْحَيَاةِ الدُّنْيَا وَتَزْهَقَ أَنْفُسُهُمْ وَهُمْ كَافِرُونَ  
 ﴿٥٥﴾ وَيَخْلِفُونَ بِاللَّهِ إِيَّاهُمْ لِمَنْكُمْ وَمَا هُمْ بِمَنْكُورٍ وَلَكِنَّهُمْ  
 قَوْمٌ يَفْرُقُونَ ﴿٥٦﴾ لَوْ يَجِدُونَ مَدْجًا أَوْ مَعْرَتًا أَوْ مَدَّخَلًا  
 لَوَلَّوْا إِلَيْهِ وَهُمْ يَجْمَحُونَ ﴿٥٧﴾ وَمِنْهُمْ مَن يَلْمِزُكَ فِي  
 الصَّدَقَاتِ فَإِنْ أُعْطُوا مِنْهَا رَضُوا وَإِنْ لَمْ يُعْطُوا مِنْهَا إِذَا  
 هُمْ يَسْخَطُونَ ﴿٥٨﴾ وَلَوْ أَنَّهُمْ رَضُوا مَا آتَاهُمُ اللَّهُ وَرَسُولُهُ  
 وَقَالُوا حَسْبُنَا اللَّهُ سَيُؤْتِينَا اللَّهُ مِنْ فَضْلِهِ وَرَسُولُهُ  
 إِنَّا إِلَى اللَّهِ رَاغِبُونَ ﴿٥٩﴾ إِنَّمَا الصَّدَقَاتُ لِلْفُقَرَاءِ وَالْمَسْكِينِ  
 وَالْعَمِلِينَ عَلَيْهَا وَالْمُؤَلَّفَةِ قُلُوبُهُمْ وَفِي الرِّقَابِ  
 وَالْغَرَمِينَ وَفِي سَبِيلِ اللَّهِ وَابْنِ السَّبِيلِ فَرِيضَةً  
 مِّنَ اللَّهِ وَاللَّهُ عَلِيمٌ حَكِيمٌ ﴿٦٠﴾ وَمِنْهُمْ الَّذِينَ يُؤَدُّونَ  
 النَّبِيَّ وَيَقُولُونَ هُوَ ذُنُّ قُلِّ أَدُنُّ خَيْرٌ لَّكُمْ يُؤْمِنُ  
 بِاللَّهِ وَيُؤْمِنُ بِالْمُؤْمِنِينَ وَرَحْمَةُ اللَّهِ لِلَّذِينَ آمَنُوا  
 مِنْكُمْ وَالَّذِينَ يُؤَدُّونَ رَسُولَ اللَّهِ لَهُمْ عَذَابٌ أَلِيمٌ ﴿٦١﴾

55)使徒よ、だから、かれら偽信者の財産や子女に惑わされてもいけないし、またはそれらをうらやましく思ってもいけない。それらの結果は悪いものだ。アッラーはそれらを獲得するための困難と障害、そしてそれらを襲う損失でかれらを懲罰し、不信心の状態のままかれらの魂が抜き取られることを望んでいる。そのようにしてかれらは、永遠の懲罰を地獄の火の一番下の層で受けることになるのである。

56)信者よ、かれら偽信者は、アッラーに誓って、本当にあなた方の仲間ですと言うが、陰では別のことを言うのだ。外見だけを整える。恐れをなし、戦いでは臆病で、戦死したり、捕虜になったりした多神教徒たちに起こったことが、またかれらを襲うと心配する。だからムスリムのふりをするのだ。

57)もしかれらが、砦や山中の洞窟、地下のトンネルといったような避難所を見出せば、そこに大急ぎで行くだろう。

58)使徒よ、かれらの中には、施しについて使徒を批判する人がいる。もし施しを好きにだけ分け与えられるならば、かれらは喜ぶが、分け与えられないならば、不満をぶちまける。

59)もしかれらが、アッラーとその使徒(ムハンマド)が自分たちに与えたものに満足して、こう言ったなら、よかったのだ。わたしたちにはアッラーがいれば十分で、アッラーはその寵愛からわたしたちにもっと与えるだろう。また使徒も、アッラーからの賜り物から、われわれに与えるだろう。わたしたちはアッラーだけに、望みを託すと。もしかれらがこう言ったなら、使徒を批判するよりはよほどよかったのだ。かれらが使徒を非難した後、アッラーが定めの施しの支出法や誰がその権利を持っているかなどについて、正しい方途を示されたのは、それで使徒を擁護するためであった。そこでかれは次のように言う。

60)義務的な施しをする対象は、貧者(これは仕事によって少々稼いでいるが、良い生活とは言えない人で、人に注目もされない)、困窮の人(ほとんど何もない人で、誰もがその酷い様子やその苦情によって気付いている)、イマームによってこの施しを集金するために遣わせられた人、不信仰者だがイスラームに傾いてきた人でイスラームに惹きつけるべき場合や、あるいは弱い信仰を持ちその強化と悪を未然に防ぐ必要のある人、奴隷(の解放)、無駄使いではなく妥当な範囲の債務者で支払いに窮している人、アッラーの道のために努める人、資金不足の旅人たちのためである。これらに施しが限定されるのは、アッラーの掟である。アッラーは何が僕にとって最善かを全知され、計画や定めに英明である。

61)また偽信者の中には、使徒(アッラーの祝福と平安を)を侮辱して、かれは何でも親切に聞きとって信じるが、真実とそうでないものの区別ができないうる人がいる。使徒よ、使徒はかれらにとって最善のものだけを聞き取るのだと返事せよ。かれはアッラーを信じ、また信者の言うことを信じ、かれらには慈悲が下される。かれを信じる者には慈悲が送られるとしても、アッラーの使徒を阻害する人には、激しい罰がある。

#### 本諸節の功德:

- 資財や子弟は現世での罰の原因かもしれない。来世での罰の原因になるかも知れない。信者はアッラーが喜ばれるようにそれらを扱うべきだ。そうすることで救済されるのだ。
- ザカートは指導者によって配分される。異なったカテゴリーの人々の必要度を判断し、かれらがどのくらいすでに手元に持っているかも判断する。
- 使徒(アッラーの祝福と平安を)の使命に阻害する行為は罪である。重大な懲罰の対象となる。
- 信者は、善への耳となり、悪への耳となってはいけない。換言すれば、役に立つ善はよく聞き、他方、罪深く腐敗したものは、遠ざかって聞かないということである。

يَخْلِفُونَ بِاللَّهِ لَكُمْ لِيَرْضَوْكُمْ وَاللَّهُ وَرَسُولُهُ أَحَقُّ  
 أَنْ يُرْضَوْهُ إِنَّكُمْ كُنْتُمْ مَوْمِنِينَ ﴿٦٦﴾ أَلَمْ يَعْلَمُوا أَنَّهُ وَمَنْ  
 يُحَادِدِ اللَّهَ وَرَسُولَهُ فَأَنَّ لَهُ نَارَ جَهَنَّمَ خَالِدًا فِيهَا  
 ذَلِكَ الْخِزْيُ الْعَظِيمُ ﴿٦٧﴾ يَحْذَرُ الْمُنَافِقُونَ أَنْ  
 تُنَزَّلَ عَلَيْهِمْ سُورَةٌ تُنَبِّئُهُمْ بِمَا فِي قُلُوبِهِمْ قُلِ اسْتَهِزْهُ  
 إِنَّ رَبَّ اللَّهَ مُخْبِرٌ بِمَا تَحْذَرُونَ ﴿٦٨﴾ وَلَيْسَ سَأَلْتَهُمْ  
 لِيَقُولُنَّ إِنَّمَا كُنَّا نَخُوضُ وَنَلْعَبُ قُلْ أَبِاللَّهِ وَآيَاتِهِ  
 وَرَسُولِهِ كُنْتُمْ تَسْتَهْزِئُونَ ﴿٦٩﴾ لَا تَعْتَذِرُوا قَدْ كَفَرْتُمْ  
 بَعْدَ إِيمَانِكُمْ إِنْ نَعَفَ عَنْ طَائِفَةٍ مِنْكُمْ نَعَذِّبْ طَائِفَةً  
 بِأَنَّهُمْ كَانُوا مُجْرِمِينَ ﴿٧٠﴾ الْمُنَافِقُونَ وَالْمُنَافِقَاتُ  
 بَعْضُهُمْ مِنْ بَعْضٍ يَأْمُرُونَ بِالْمُنْكَرِ وَيَنْهَوْنَ  
 عَنِ الْمَعْرُوفِ وَيَقْبِضُونَ أَيْدِيَهُمْ نَسُوا اللَّهَ فَنَسِيَهُمْ  
 إِنَّ الْمُنَافِقِينَ هُمُ الْفَاسِقُونَ ﴿٧١﴾ وَعَدَّ اللَّهُ الْمُنَافِقِينَ  
 وَالْمُنَافِقَاتِ وَالْكُفَّارَ نَارَ جَهَنَّمَ خَالِدِينَ فِيهَا هِيَ  
 حَسْبُهُمْ وَلَعْنَهُمُ اللَّهُ وَلَهُمْ عَذَابٌ مُقِيمٌ ﴿٧٢﴾

道から遠のいていて、アッラーに反して誤道を歩んでいるのである。

〔66〕アッラーは約束した。悔い改めない偽信者、それから不信仰者らは、地獄の火の中に永遠に住むことを。かれらにはこれで十分な懲罰である。アッラーはかれらをその慈悲から放逐し、かれらには永遠の苦痛がある。

#### 本諸節の功德:

- 偽信者の悪徳は多数上げられる。誤魔化しの誓い、アッラーと使徒への反抗、クルアーンと預言者と信者を馬鹿にすること、その姿がばれるような章が降りないか心配すること、教えを馬鹿にしつつそれを冗談だと言いつつそれを冗談をすることなど。こういう口実は、不信仰である証拠であり、こういった口実は背信以上に悪いのである。
- 教えと法規を馬鹿にすることは認められない。そんな調子で、啓典、預言者、アッラーの属性を語るのであれば、それは全くの不信仰に過ぎない。
- 見せかけは人の根深いところの病気である。その病は、時間や場所を問わず、悪を命じ、善を禁じる点で共通している。ジハードのアッラーの道のためや、義務的となっていることに支出しないことも同様だ。
- 報奨は行いと同種のもの。アッラーの命令を放置して、禁止されたことを行う人には、アッラーの慈悲からも放置されるのだ。

〔62〕信者たちよ、かれら偽信者は、あなた方信者を喜ばせるため、アッラーにかけて誓って、使徒を阻害するようなことは、何も言っていないという。それはあなた方を喜ばせるために過ぎないのだ。しかしかれらが真の信者であるなら、アッラーとその使徒を喜ばせ、信仰し、善行にいそしむのが、より適切なことなのである。

〔63〕かれらは知らないのか、アッラーとその使徒に反抗する人には、地獄の火があり、その中に永遠に住むことを。それは大きな恥辱であり屈辱だ。

〔64〕偽信者は、かれらが心の中に抱く不信仰を露呈する章が啓示されることを警戒している。使徒よ、言え。あなた方不信仰者は、宗教を笑い草にして、中傷していよ。アッラーは、あなた方が警戒している章をもたらして露わにさせるか、あるいは使徒にあなた方の正体を伝えさせるだろう。

〔65〕使徒よ、アッラーはあなたに、偽信者が信者に対してしていた悪口や中傷について教えたが、そのことについてかれらに問えば、かれらは言うだろう。わたしたちは冗談話をして、たわむれていただけであると。使徒よ、言え。あなた方は、アッラーとその印とその使徒を、笑い草にしていたのではないか。

〔66〕嘘の言い訳をしてはいけぬ。確かにあなた方偽信者たちは隠していた後、茶化したことで、不信心を露呈した。もしわれらが、あなた方のある一団を偽の信仰をやめて悔い改めたことで赦したとしても、他の一団は偽の信仰をやめずに改心しないことで罰するであろう。

〔67〕男性の偽信者も女性の偽信者も、偽の信仰では同じこと。かれらは邪悪を命じ、善を禁じ、出し惜しみしてアッラーの道に支出しない。かれらはアッラーを無視し、従おうとしていない。だからアッラーは、かれらを慈悲の外に置かれた。偽信者、かれらはアッラーに服従せず、真実の



كَالَّذِينَ مِنْ قَبْلِكُمْ كَانُوا أَشَدَّ مِنْكُمْ قُوَّةً وَأَكْثَرَ أَمْوَالًا  
 وَأَوْلَادًا فَاسْتَمْتَعُوا بِخَلْقِهِمْ فَاسْتَمْتَعْتُمْ بِخَلْقِكُمْ  
 كَمَا اسْتَمْتَعَ الَّذِينَ مِنْ قَبْلِكُمْ بِخَلْقِهِمْ وَخُضْتُمْ  
 كَالَّذِي خَاضُوا أُولَئِكَ حَبِطَتْ أَعْمَالُهُمْ فِي الدُّنْيَا  
 وَالْآخِرَةِ وَأُولَئِكَ هُمُ الْخَاسِرُونَ ﴿٦٩﴾ أَلَمْ يَأْتِهِمْ  
 نَبَأُ الَّذِينَ مِنْ قَبْلِهِمْ قَوْمِ نُوحٍ وَعَادٍ وَثَمُودَ وَقَوْمِ  
 إِبْرَاهِيمَ وَأَصْحَابِ مَدْيَنَ وَالْمُؤْتَفِكَاتِ أَتَتْهُمُ رُسُلُهُمْ  
 بِالْبَيِّنَاتِ فَمَا كَانَ اللَّهُ لِيَظْلِمَهُمْ وَلَكِنْ كَانُوا  
 أَنْفُسَهُمْ يَظْلِمُونَ ﴿٧٠﴾ وَالْمُؤْمِنُونَ وَالْمُؤْمِنَاتُ بَعْضُهُمْ  
 أَوْلِيَاءُ بَعْضٍ يَأْمُرُونَ بِالْمَعْرُوفِ وَيَنْهَوْنَ عَنِ الْمُنْكَرِ  
 وَيُقِيمُونَ الصَّلَاةَ وَيُؤْتُونَ الزَّكَاةَ وَيُطِيعُونَ اللَّهَ  
 وَرَسُولَهُ أُولَئِكَ سَيَرْحَمُهُمُ اللَّهُ إِنَّ اللَّهَ عِنْدَ رَحِيمِهِ  
 ﴿٧١﴾ وَعَدَّ اللَّهُ الْمُؤْمِنِينَ وَالْمُؤْمِنَاتِ جَنَّاتٍ تَجْرِي مِنْ تَحْتِهَا  
 الْأَنْهَارُ خَالِدِينَ فِيهَا وَمَسَاكِنَ طَيِّبَةً فِي جَنَّاتِ عَدْنٍ  
 وَرِضْوَانٌ مِّنَ اللَّهِ أَكْبَرَ ذَلِكَ هُوَ الْفَوْزُ الْعَظِيمُ ﴿٧٢﴾

69 偽信者よ、あなた以前の人々は、あなた方同様不信仰と茶化す点では同じことだ。かれらはあなたよりも力強く、財産と子女でも上回っていた。かれら以前の人々はその分け前を享樂し、あなた方偽信者も、あなた方以前の人々がその分け前を享樂したように、その分け前を享樂した。そしてかれらが無駄話にふけたように、あなた方もふけて、真実を拒否した。また預言者を馬鹿にした。かれらの行ないは、現世でも来世でもアッラーによって無益となったのだ。これらの人たち、かれらこそ損失者なのだ、そして自身の行いから破滅を招くのだ。

70 かれらには、かれら以前にいたヌーフ、フード、サーリフ、イブラーヒームらの民や、マドヤンそして破滅したルートの諸都市の人々の知らせが届かなかったのか。かれらには、使徒たちが明らかな証拠を持って来た。使徒たちの警告の後だったのだから、アッラーがかれらを罰したのは、不正ではなかった。でもかれらは自分自身が不正であり、アッラーとその使徒を拒否したのであった。

71 男性の信者も女性の信者も、信仰で結ばれて、互いに仲間であり、助け合う。かれらはアッラーが愛される善、すなわち唯一性を認め礼拝といった儀礼を含むものを命じ、不信心や取引で利子を取ることなどの、悪を禁じる。また礼拝は完全にその務めを守り、アッラーとその使徒に従う。これらの人たちに、アッラーは慈悲を与えられる。真にアッラーは、偉力大で、何も力で負かすことはできない。創造において、また諸事を処理し法規を定め、英明この上ないのである。

72 アッラーは、男性の信者と女性の信者に、審判の日以降は、川が宮殿の下を流れる楽園の中に永遠に住むことを、約束した。そこでは死ぬことはないし、その喜びは終わらない。また永遠の楽園の中の、すばらしい住まいを約束した。でも最大なのは、アッラーのご満悦である。これこそが比べようもない成功であり、偉大な勝利である。

#### 本諸節の功德:

- 不信仰者と偽信者への懲罰の原因は、いつでも同じである。来世よりも現世を好んで、預言者たちに対して、拒否し、企て、裏切りをするのだ。
- 過去の民や諸国の崩壊には、理性あり教訓から学ぶ人たちにとって不信仰と預言者たちの拒否が原因であったという点で、教訓があり、警告がある。
- 信仰ある男女の共同体は、一つの社会を構築し、協力し相互扶助をする。その心は団結し、互いの愛情や情熱で満たされている。
- 天地の主の喜びをえることは、楽園の快樂より大きいものだ。精神的な幸福は、物的なそれを越えるものである。

يَأْتِيهَا النَّبِيُّ جِهْدَ الْكُفَّارِ وَالْمُنَافِقِينَ وَأَعْلَظَ عَلَيْهِمْ  
 وَمَأْوَاهُمْ جَهَنَّمُ وَبِئْسَ الْمَصِيرُ ﴿٧٦﴾ يَخْلَعُونَ بِاللَّهِ مَا قَالُوا  
 وَلَقَدْ قَالُوا كَلِمَةَ الْكُفْرِ وَكَفَرُوا بَعْدَ إِسْلَامِهِمْ وَهَمُّوا  
 بِمَا كَفَرُوا وَمَا أَنْفَعُوا إِلَّا أَنْ آغَنَّهُمُ اللَّهُ وَرَسُولُهُ  
 مِنْ فَضْلِهِ فَإِنْ يَتُوبُوا يَكُ خَيْرًا لَهُمْ وَإِنْ يَتَوَلَّوْا يَعِدَّ لَهُمْ  
 اللَّهُ عَذَابًا أَلِيمًا فِي الدُّنْيَا وَالْآخِرَةِ وَمَا لَهُمْ فِي الْأَرْضِ  
 مِنْ وَلِيٍّ وَلَا نَصِيرٍ ﴿٧٧﴾ \* وَمِنْهُمْ مَنْ عَاهَدَ اللَّهُ لَئِنْ آتَيْنَا  
 مِنْ فَضْلِهِ لَنَصَّدَّقَنَّ وَلَنَكُونَنَّ مِنَ الصَّالِحِينَ  
 ﴿٧٨﴾ فَلَمَّ آتَاهُمْ مِنْ فَضْلِهِ بَخِلُوا بِهِ وَتَوَلَّوْا وَهُمْ  
 مُعْرِضُونَ ﴿٧٩﴾ فَأَعْقَبَهُمْ نِفَاقًا فِي قُلُوبِهِمْ إِلَى يَوْمِ يَلْقَوْنَهُ  
 بِمَا أَخْلَفُوا اللَّهَ مَا وَعَدُوهُ وَبِمَا كَانُوا يَكْذِبُونَ ﴿٨٠﴾  
 أَلَمْ يَعْلَمُوا أَنَّ اللَّهَ يَعْلَمُ سِرَّهُمْ وَنَجْوَاهُمْ وَأَنَّ اللَّهَ  
 عَلِيمُ الْغُيُوبِ ﴿٨١﴾ الَّذِينَ يَلْمِزُونَ الْمُطَّوِّعِينَ مِنَ  
 الْمُؤْمِنِينَ فِي الصَّدَقَاتِ وَالَّذِينَ لَا يَجِدُونَ إِلَّا جُهْدَهُمْ  
 فَيَسْخَرُونَ مِنْهُمْ سَخِرَ اللَّهُ مِنْهُمْ وَلَهُمْ عَذَابٌ أَلِيمٌ ﴿٨٢﴾

سورة التوبة  
الحزب العاشر

である。

⑦⑨ 信者たちの中で進んで施しを与えるが、少ししかできない人たちを批判し、そんな少しのものが何の役に立つのかと言って、かれらを笑い草にする人たちこそ、偽信者なのだ。しかしアッラーは、信者を馬鹿にしたかれらを笑い草にする。かれらには激しい苦痛があるだろう。

#### 本諸節の功德:

- 不信仰者や偽信者と戦うことは、宗教上の義務である。不信仰者に対しては、戦いのあらゆる手段を用いて肉体的に戦い、偽信者に対しては、よく熟知して論争を挑むということである。
- 偽信者は最悪だ。かれらは裏切るし、善を悪で返すからだ。
- 啓示には、誓いや約束を破ることは、偽の信仰を生むとある。ムスリムはそのようなことから身をしっかりと守るべきである。
- 啓示には、健全な体と労働は、富に代わるものとして、称えられる。これは公共財の源泉や労働者の問題を考えるときに、重要な原則を与えている。

⑦③ 使徒よ、不信仰者とは剣で戦い、偽信者に対しては強い論証で奮闘努力し、かれらに厳しく対処しなさい。そうするのにかれらは値するのだ。かれらの最後の審判の日、住まいは地獄だ。何と悪い行き先なのか。

⑦④ かれらはアッラーにかけて、虚偽の誓いを立てる。何もあなたやあなたの宗教に対して、不信の言葉を言わなかったと誓うが、でも確にかれらは不信心な言葉を口にし、イスラームを受け入れた後、不信心になったのだ。さらには、預言者(アッラーの祝福と平安を)を殺害しようとも考えていたが、それはうまく行かなかった。かれらは、アッラーがアッラーの使徒に与えた戦利品の内からかれらにも与えてやったというのに、非難すべきでもないことを非難したのであった。だからもし改心するならば、かれらのために最も善い。でも背き去るならば、アッラーは、現世では殺害されるか捕虜になるか、来世では地獄の火という激しい苦痛でかれらを罰する。かれらには懲罰から助けてくれる、擁護者も援助者もない。

⑦⑤ かれら偽信者の中には、アッラーと約束をした人がいてこう言う。もしアッラーが、わたしたちに恩寵を与えるならば、わたしたちは貧者に施しを与え、正しい人の仲間になるだろう。

⑦⑥ でもアッラーの恩寵が与えられると、かれらは約束を破り、けちになって施しをせず、信仰に背いて去った。

⑦⑦ だからアッラーは、審判の日、かれらがかれに会う日まで、その心の中に偽の信仰を抱かせた。それは懲罰のためで、アッラーとの約束を破り、嘘をついていたからである。

⑦⑧ かれらは知らないのか。アッラーが、かれらの内密の相談もご存知であることを。またアッラーが、見えないこともすべて把握していることを。かれらのすることで、アッラーが知らないことはなく、必ずそれは報いられるの

80) どれほど赦しを求めようとも、彼らは赦しに値せず、アッラーは偽信者を赦すことはない。彼らはアッラーとその使徒を信じず、アッラーの法に故意に反する。

81) タブークの戦いに加わらなかった偽信者たちは、使徒に反し、アッラーの道における戦いに出ずに留まることを喜んだ。彼らは信徒たちのように自らの富を費やしてアッラーの道に努力することを嫌った。タブークの戦いは暑い季節の中での出来事だったことから、彼らは仲間の偽信者たちに「暑さの中、進軍するな」と言った。預言者よ、言うのだ。「偽信者たちを待つ地獄の炎は、彼らが避けるこの熱よりはるかに熱いのだ」と。もし彼らがそれを知っていたなら。

82) アッラーの道を踏み外したこれらの偽信者たちについては、短い現世の生活の中で少し笑わせておくがよい。現世で犯した不信仰と罪の引き換えに、彼らは永遠の来世の生活では多く泣かねばならないのである。

83) 預言者よ、アッラーによってあなたは偽信者たちの元に戻り、かれらが別の戦いであなたと出征する許可を求めたら言うのだ。偽信者よ、あなた方への罰として、あなた方がわたしと一緒に出征し、戦うことは決してない。あなた方はタブークの戦いに赴かず、留まることを喜んだのだから、病人や女子供と共に留まるのだ。

84) 預言者よ、死んだ偽信者に対しては、決して祈りを捧げてはならない。墓地の脇で彼らの罪の赦しを懇願してもならない。それは彼らがアッラーとその使徒を信じず、アッラーへの従順を拒絶して死んだからである。

85) 預言者よ、これら偽信者の富と子女に感銘を受けてはならない。アッラーはそれらを通して現世では困難と災害に直面させ、彼らへの懲罰とし、彼らの魂が不信仰のうちに肉体を去ることを望むのである。

86) アッラーを信じるよう、そしてそこにおける奮闘を命じる章句をアッラーが預言者に啓示したとき、裕福な者たちは留まる許可を求めて言った。弱者や病人など免除された者たち同様、留まらせてください、と。

أَسْتَغْفِرَ لَهُمْ أَوْ لَا تَسْتَغْفِرَ لَهُمْ إِنْ تَسْتَغْفِرَ لَهُمْ سَبْعِينَ مَرَّةً فَلَنْ يَغْفِرَ اللَّهُ لَهُمْ ذَلِكَ بِأَنَّهُمْ كَفَرُوا بِاللَّهِ وَرَسُولِهِ وَاللَّهُ لَا يَهْدِي الْقَوْمَ الْفَاسِقِينَ ﴿٨١﴾ فَرَحَ الْمُخَلَّفُونَ بِمَقْعَدِ هَزْمِ خَلْفَ رَسُولِ اللَّهِ وَكَرِهُوا أَنْ يُجَاهِدُوا بِأَمْوَالِهِمْ وَأَنْفُسِهِمْ فِي سَبِيلِ اللَّهِ وَقَالُوا لَا تَنْفِرُوا فِي الْحَرِّ قُلْ نَارُ جَهَنَّمَ أَشَدُّ حَرًّا لَوْ كَانُوا يَفْقَهُونَ ﴿٨٢﴾ فَلْيَضْحَكُوا قَلِيلًا وَلْيَبْكُوا كَثِيرًا جَزَاءً بِمَا كَانُوا يَكْسِبُونَ ﴿٨٣﴾ فَإِنْ رَجَعَكَ اللَّهُ إِلَى طَائِفَةٍ مِّنْهُمْ فَاسْتَدْنُوكَ لِذُخْرٍ قُلْ لَنْ أَخْرُجُو مَعِيَ أَبَدًا وَلَا تَقْتُلُوا مَعِيَ عِدُوًّا إِنَّكُمْ رَضِيتُمْ بِالْقُعُودِ أَوَّلَ مَرَّةٍ فَاقْعُدُوا مَعَ الْخَالِفِينَ ﴿٨٤﴾ وَلَا تَضَلَّ عَلَى أَحَدٍ مِّنْهُمْ مَاتَ أَبَدًا وَلَا تَقُمْ عَلَى قَبْرِهِ إِنَّهُمْ كَفَرُوا بِاللَّهِ وَرَسُولِهِ وَمَاتُوا وَهُمْ فَاسِقُونَ ﴿٨٥﴾ وَلَا تَعِجِبْكَ أَمْوَالُهُمْ وَأَوْلَادُهُمْ إِنَّمَا يُرِيدُ اللَّهُ أَنْ يُعَذِّبَهُمْ بِهَا فِي الدُّنْيَا وَتَرْهَقَ أَنْفُسُهُمْ وَهُمْ كَافِرُونَ ﴿٨٦﴾ وَإِذَا أَنْزَلْتَ سُورَةً أَنْ أَمِنُوا بِاللَّهِ وَجَاهِدُوا مَعَ رَسُولِهِ اسْتَأْذِنَكَ أُولُوا الطَّوْلِ مِنْهُمْ وَقَالُوا ذَرْنَا نَكُنْ مَعَ الْقَاعِدِينَ ﴿٨٦﴾

### 本諸節の功德:

- 赦しを求めたり、善行したりすることは、不信仰に留まる限り彼らを益することはない。
- 人の近視眼的な傾向として、現状だけに気を取られ、将来を重視しない。
- これらの諸節には、預言者が信仰者に対して行ったように、信仰者の葬儀の祈り、また、墓地を訪問し、死者のために祈りを捧げることの合法性の根拠が含まれる。

رَضُوا بِأَن يَكُونُوا مَعَ الْخَوَالِفِ وَطُبِعَ عَلَى قُلُوبِهِمْ فَهُمْ لَا يَفْقَهُونَ ﴿٨٧﴾ لَكِنِ الرَّسُولُ وَالَّذِينَ آمَنُوا مَعَهُ وَجَاهِدُوا بِأَمْوَالِهِمْ وَأَنْفُسِهِمْ وَأَوْلِيَّتِكَ لَهُمُ الْخَيْرَاتُ وَأَوْلِيَّتِكَ هُمُ الْمُفْلِحُونَ ﴿٨٨﴾ أَعَدَّ اللَّهُ لَهُمْ جَنَّاتٍ تَجْرِي مِنْ تَحْتِهَا الْأَنْهَارُ خَالِدِينَ فِيهَا ذَلِكَ الْفَوْزُ الْعَظِيمُ ﴿٨٩﴾ وَجَاءَ الْمُعَذِّرُونَ مِنَ الْأَعْرَابِ لِيُؤْذَنَ لَهُمْ وَقَعَدَ الَّذِينَ كَذَبُوا اللَّهَ وَرَسُولَهُ وَسَيُصِيبُ الَّذِينَ كَفَرُوا مِنْهُمْ عَذَابٌ أَلِيمٌ ﴿٩٠﴾ لَيْسَ عَلَى الضَّعَفَاءِ وَلَا عَلَى الْمَرْضَى وَلَا عَلَى الَّذِينَ لَا يَجِدُونَ مَا يَنْفِقُونَ حَرَجٌ إِذَا نَصَحُوا لِلَّهِ وَرَسُولِهِ مَا عَلَى الْمُحْسِنِينَ مِنْ سَبِيلٍ وَاللَّهُ غَفُورٌ رَحِيمٌ ﴿٩١﴾ وَلَا عَلَى الَّذِينَ إِذَا مَا أَتَوْكَ لِتَحْمِلَهُمْ قُلْتَ لَا أَجِدُ مَا أَحْمِلُكُمْ عَلَيْهِ تَوَلَّوْا وَعَيْبُهُمْ تَفِيضٌ مِنَ الدَّمْعِ حَزَنًا أَلَّا يَجِدُوا مَا يَنْفِقُونَ ﴿٩٢﴾ \* إِنَّمَا السَّبِيلُ عَلَى الَّذِينَ يَسْتَسِدِّونَكَ وَهُمْ أَعْيُنَاءُ رَضُوا بِأَن يَكُونُوا مَعَ الْخَوَالِفِ وَطُبِعَ عَلَى قُلُوبِهِمْ فَهُمْ لَا يَعْلَمُونَ ﴿٩٣﴾

الْحَزْنَةُ  
عَاشِرُ

87) これらの偽善者は、(出征が)免除された者たちと留まる恥と屈辱に満足する。アッラーは彼らの不信仰と偽善のために彼らの心を封じており、彼らには自分たちの最善の利益がどこにあるかはわからない。

88) 使徒と信仰者たちは、彼らのようにアッラーの道において留まることはなく、自らの富と命をかけてアッラーの道に奮闘した。アッラーからの報奨として、彼らは勝利や戦利品などの世俗的な恩恵を受けるとともに、楽園で願望が叶えられ、彼らが恐れるものからの救済を含む、来世での恩恵も受けるのである。

89) アッラーはこれらの信仰者たちのため、宮殿の下に流れる川を備えた楽園を準備された。その報奨は他に匹敵するものは何もない大きな成功である。

90) マディーナの砂漠地帯に住むアラブ人とその周辺地域の人々の一団は、出征を免除してもらうためにアッラーの使徒へ言い訳をしに来た。また、別の一団は、預言者を受け入れず、アッラーの約束についての信仰も持っておらず、何の言い訳もせず、出征することなく留まった。彼らはその不信仰によって、痛烈な痛みを伴う罰によって苦しめられるであろう。

91) 女性、子供、病人、慢性的な病気や盲目の身体障害者、および出征の装備に費やす金のない貧しい人々は、その合法的な理由により免除され、留まっても罪はない。ただし、それは彼らがアッラーとその使徒に対して誠実で、アッラーの法を実践する限りにおいてである。免除されたこれらの人々のうち、善を尽くす人々に罰はもたらされない。アッラーは善を行う者の罪を赦し、彼らに憐れみを示す。

92) 使徒よ、あなたが乗用の家畜を求められた後、「私にはあなた方に与えられる動物がない」と述べたために留まった人々にも同様に罪はない。彼らは自分で、またはあなたから出征のための手段を見出すことができなかった悲しみから、涙を流してあなたのもとを去ったのである。

93) 使徒よ、罰に値するのは、出征のための装備ができる手段を持つにも関わらず、留まる許可を求めている者たちだけである。彼らは、家に居残っている人々と一緒にいることによって、自身の不名誉と屈辱に満足する。アッラーが彼らの心を封じたため、いかなる警告にも動じない。そのため、彼らには利益や危害がどこにあるのかわからず、それを選んだり、避けたりすることができない。

#### 本諸節の功德:

- アッラーの道に努力する者は、現世の良きものを得る。あるいは楽園へ行き、来世の罰から救われる。
- 原則として、優しさをもって人々に善を尽くす人々は、不足が看過される。
- 善行を意図する者、そしてその確固たる意図と共に、できることをやろうと努めるが、できなかった者は、実際にその善行を行った者と同様の位階を得る。
- イスラームは公正と論理の教えを説く。このため、裕福で有能でありながら自らの生命と富をアッラーの道において費やさない許可を求める偽善者たちに、イスラームは罪と罰を課した。